

理學士 山上萬次郎編

(外國之部)

新撰普通地理

東京書肆

合資會社 富山房 發兌

新撰普通地理(外國ノ部)

理學士 山上萬次郎 編

亞細亞

下關を發して對馬海峽を横されは百二十二哩にして朝鮮國の東南端なる釜山浦に達すへ此地は對馬島よりの距離十七里に過ぎれば晴天の日對馬の海岸より遙に天際に望み得へ此の如く相邇きを以て古來我邦人の往來繁く明治九年開港場となりて我邦と貿易を開き全十六年各國と互市を始め我邦との通商最も繁く今は我邦人の此地に住居するもの一萬人に近し其地勢三面山を繞らし南の一面は開け一大灣を成し絶影島其口に横はる灣内水深く大船を碇泊せしむるに足る釜山鎮其



第一圖



朝鮮人の風俗

北部にあり我居留地は西南海岸に沿ひ領事館及び警察署郵便電信局銀行會社旅館等あり九洲の唐津より對馬の嚴原を経て此地に至る海底電線あり貿易は全く日本商人の手に在り貿易品は米大豆牛皮等にして輸入品雜貨なり

釜山港は朝鮮八道(京畿忠清全羅慶尙江原咸鏡平安黃海)の内東南なる慶尙道にあり之より北行すること二十九

里に大邱府あり慶尙道の治所にして洛東江其西を流れ流域廣く其産物は多く此地に集る之より江を沂り北行すること十七里にして尙洲あり更に十餘里の北に鳥嶺あり之を経て忠清道に入る

釜山より東の海岸に沿て北行すれば加藤清正の勇戦に名を留めたる蔚山を経て慶洲に入り西北安東府を経て忠清道に入るを得べし

忠清道の治所は公洲といひ鎮江の上流にあり平地廣く木綿を産す其北十餘里に牙山あり牙山の東北に成歡驛あり日清戦争の時初めて干戈を交へたる地として有名なり其東の海中には豊島あり征清の役我軍海戦に初て捷利を得たる處なり

慶尙道の西忠清道の南を全羅道といひ其治所は全洲にして
 往昔百濟國の都にして公洲の南十六里にあり木綿の産地に
 して其北部の海岸には群山あり西南に木浦あり共に良港な
 り
 釜山港より鳥嶺を経て直に忠清道を過て北行せんは釜山よ
 り八十九里にして京畿道京城に入るべし
 京城は韓語「セウル」といひ又た漢陽漢城ともいふ朝鮮國都に
 て漢江の右岸に立ち江口より上流八里にあり繞らすに高壁を
 以てし四面に八門を設く其東門を興仁門といひ最も大に南門
 を崇禮門といひ此兩門八道に通ずる要路に當れり王宮は北方
 白岳山の麓にあり景福宮と稱す街衢は概ね狹隘にして家屋陋
 穢なり人口二十萬あり日本公使館は木覓山下にあり

第二圖



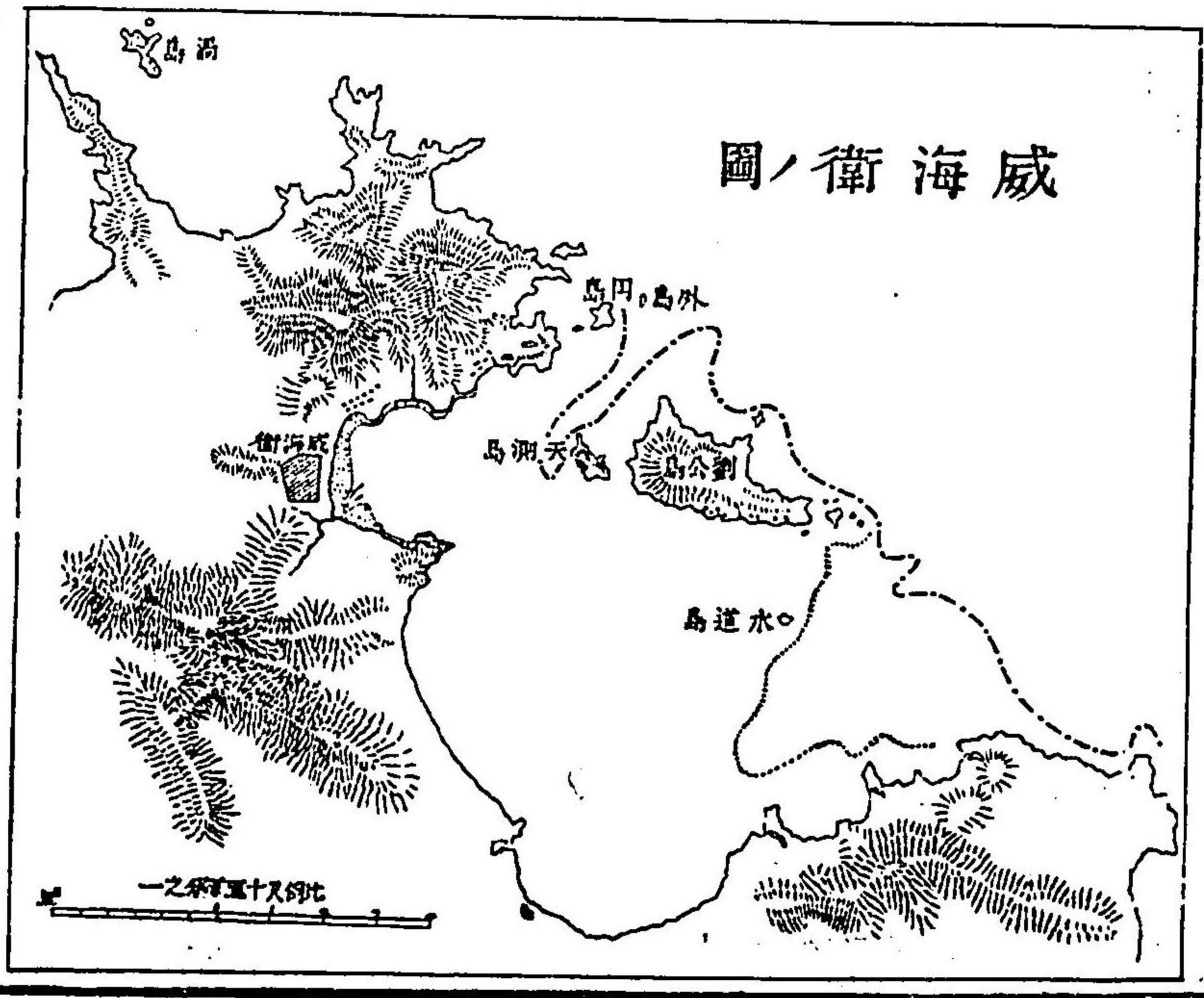
漢陽

白岳山

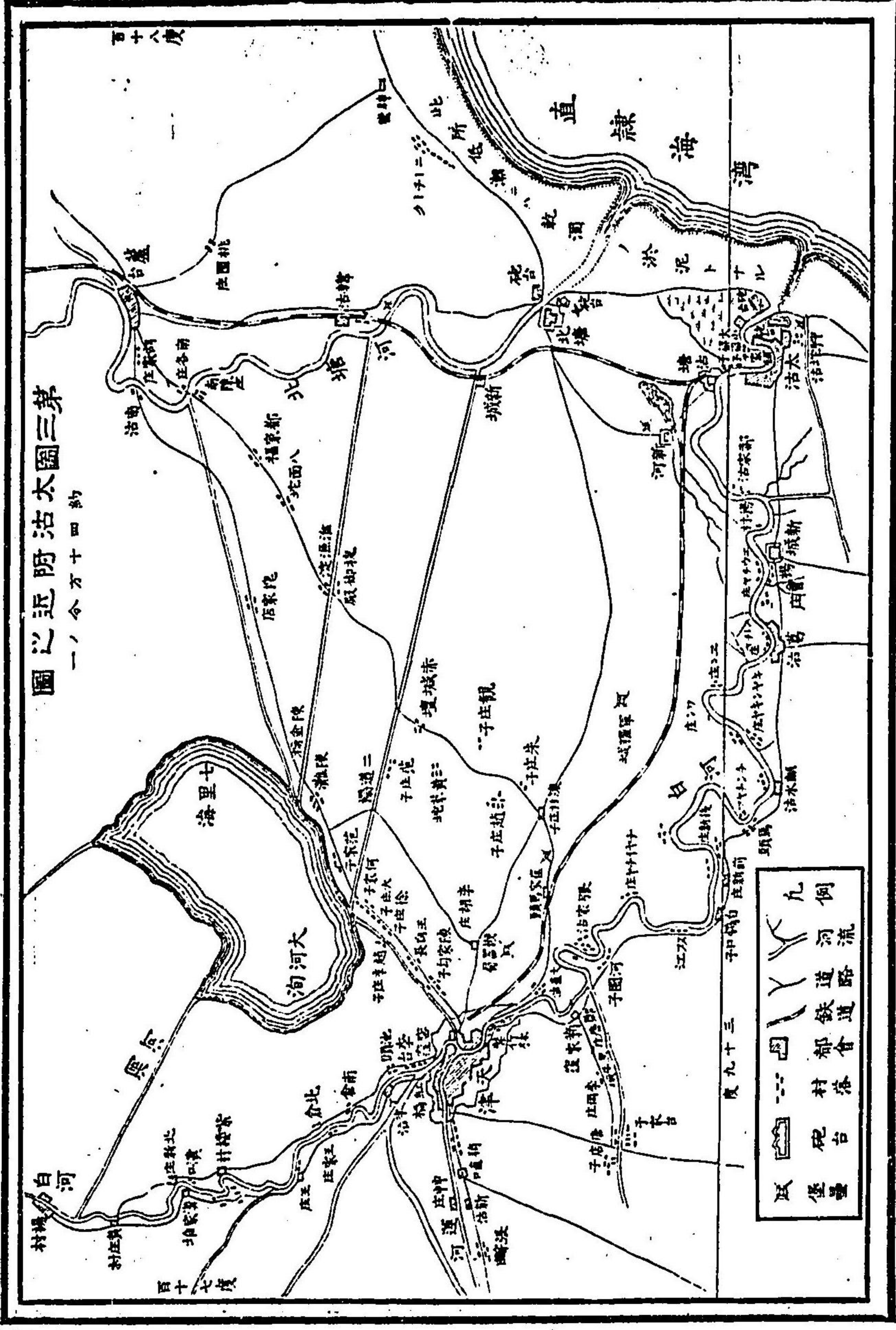
木覓山

一之千五十八尺比

威海衛圖



一之千五十八尺比



第三圖 防治附近之圖

京城の西南四里に仁川港あり明治十六年我政府の要求により開港場となれり其埠頭を濟物浦といひ漢江の流注する所に當り水深く灣濶く碇泊に便なり日本居留地及び各國居留地此に在り日本領事館あり銀行會社等あり朝鮮中部の要港たるを以て船舶の出入繁く貿易漸く盛にして他の朝鮮諸港を壓せんとす輸出品の重なるものは砂金人參大豆木綿等なり

京畿道の東に江原道あり原洲を其治所とす京城を距ること二十一里道内山嶽海に迫り風光甚た美なり

京城の東門を出て江原道を経て北行すること五十里にして咸鏡道の德源府に達す德源府は江興灣に臨み其南に元山津あり

元山津は明治十二年我邦の爲に開ける開港場にして下ノ關を

距ること海上三百八十八湮日本人の住居するもの多く領事館銀行等あり輸出品は米穀牛皮等なり

之より日本海岸に沿て東北に行くこと二十里にして道の治所咸興あり之より百餘里にして慶興に達す此間に砂金の産地數所あり慶興の北を流るゝ圖們江は源を長白山の東南に發し東北に流れて韓露の境を劃せり

圖們江を浜りて其源頭に至り分水の嶺を踰ゆれば鳴綠江の水源に達し之に順て西に下れば百餘里にして其河口に達すべし

鳴綠江は朝鮮第一の大河にして圖們江大同江漢江洛東江と共に朝鮮の五大江と呼ばれ亦た長白山より發し清韓兩國の境上を流れて黃海に入る其左岸に江口に近く義州府あり人

口四萬あり支那との貿易市場なり

是より平安道の西岸に沿ひて東南に歸途に就けば四十七里にして平壤に達す

平壤は平安道の治所にして箕子の故都なり大同江其南を流れ城郭宏大にして險要の位地にあり城中戸數萬餘あり豊臣氏征韓の役明の大軍と激戦ありし遺蹟にして役清の役我第一軍京城より北進し此地に據れる清軍二萬餘を撃ち牡丹臺玄武門の名は永く人口に膾炙す

之より西南に行けば黃海道の黃洲府口に達す人口二萬八千あり朝鮮大豆産地の中心たり之より大同江に沿て西に下れば海岸に漁隱洞あり征清の役我が海軍の假根據とせし所なり之より海に沿て西南に行けば長淵府を経て道の治所たる

海洲に達し開城を経て漢江の支流臨津江を渡り京城に歸る。以上見たる朝鮮王國は亞細亞大陸の東部の一半島にして日本海は黃海の間に横はり面積一萬三千萬里人口七百餘萬或は一千萬と稱す清露の疆界たる長白山脈の白頭山の支脈南に走りて半島の脊梁をなし其東麓は急に日本海に傾き平地に乏しく西麓には大河多く原野廣し氣候は寒熱の差大に夏秋の交雨多く産物の重なるものは米、麥、大豆、綿花、人參、麻、牛皮、虎皮、砂金、鉄等なり人民は日本人、琉球人と親密なる關係ある人種にして言語文章も日本語に類するも風俗は支那人に類し衣服に意を用ゆるも住居食物汚穢を意とせず二千餘年前は我邦よりも先進の文明國にして支那、印度の文物を我邦に輸入する媒介をなせるも國內分裂し争亂屢々起り其後高

麗王立て國王となれるより以來五百年間に内政亂れ國民解体し今に至りても國礎未だ確乎たらず東亞事ある毎に常に戰亂の場となる朝鮮國の不幸亦大なりと云ふべし

京城より再ひ仁川に出で黃海を西北に向て航行すれば海洋島あり其北に支那帝國の遼東半島あり東北より西南に突出し其先に關東半島あり大連灣旅順口等の要港あり之より半島に沿ふて東北に進めば渤海の東北部なる遼東灣に入り牛莊港に達す

牛莊港は一に營口といひ盛京省の東北部より流れ出る大河遼河の口にあり人口六萬あり東三省と稱する吉林、黑龍、盛京三省の貿易の門戸にして大豆の輸出多し此近傍に海城、蓋平、田庄臺等の市街あり何れも日清戦争に激戦ありし地なり

牛莊港を辭して西南に航すれば渤海の西南部直隸灣に入り白河の口に達すれば塘沽太沽の要塞あり塘沽より鐵道によりて天津に至る

天津は白河の口より十餘里の上流にあり人口凡そ九十五萬の一大都府にして直隸省の門戸に當り北支那の要樞となり之より運河あり南方黃海に通じ河運海漕して支那帝國の首府北京に入るもの此地を経ざるなく且つ支那蒙古を経て西比里亞に通する貿易線路の端緒なるを以て商業上亦た重要な地なり

天津より白河を溯り西北に行くこと二十六里にして通州に至り更に西行すること四里にして北京に達す百貨米糧の河運によりて北京に輸するもの通州より陸路による

北京は現今清國の首部にして人口二百萬ありと稱し明代以來

順天府といひ近傍地方を直隸省といふ市街方正にして環らすに城壁を以てし城内更に分れて内城外城となり内城に帝宮官衙あり建築宏壯なり帝居の周圍に庶民の居宅あり大街は濶さ四丈中央を通路即ち車道とし兩側を便道即ち歩道とす車馬絡驛として往來織るが如く頗る雜沓なり外城は大街四條あり街衢稍窄きも熱鬧は内城よりも甚し道路家屋の不潔なるは支那市街に普通にして北京も亦た然り府の西北に圓明園あり頗る美觀なりしに英佛全盟軍の爲に燬かたて宮殿臺榭概ね灰燼に歸せり

北京より東行すれば百二十里にして山海關あり一に臨滄といひ海に臨み山を負ひ北京東道の門戸にして有名なる萬里の長城は是より起れり北京山海關の間に灤河の巨流あり其

上流長城の外に承德府あり北京の東北六十四里にあり咸豐の變英佛同盟軍の北京を陥れたる際清帝蒙塵の地にして一に熱河と云ふ山海關より錦州府を経て東北百三十里にして盛京省の奉天府に入る

奉天府(盛京)は遼河上流の平野にあり人口二十五萬あり盛京省は西北蒙古に連り東は朝鮮に接し吉林黑龍兩省と共に東三省と稱し滿洲の南部に位し形勝の地なるを以て金遼の如き諸國嘗て此に割據して南向して宋朝を苦しめたることあり清祖亦た滿洲より起り國都奉天府を置き今尙は清國宗廟の所在たり市外に環らすに城壁を以てし四方に八門を開き街衢の修潔なること支那諸市街の中稀に見る所なり産物は農産のみ一の工

藝品あるなし

奉天府より東北に往けば黑龍江の一支流松花江の流域に入り吉林あり人口十二萬あり之より北に行けば支流嫩江の流域にして露西亞と疆を接し此に齊々哈原墨爾根の兩市あり松花江の支流瑚爾哈河を溯りて南に向へは上流に寧古塔あり人口二萬許清祖の建國の地なり是より西行して再び吉林に出で西南に向ひて奉天府を経て山海關に歸り鐵道に依りて海に沿ひ西行すれば開平あり是れ北支那の炭坑のある所なり之より尙は鐵道によりて太沽に歸り天津を経て再び北京に歸る

北京より再び行を起して西南に向ひ涿洲に至れば是れより街道は分れて二となる其一支東なるものを南に進めば河間

府を経て山東省に入り德洲を経て北支那第一の大河なる黄河を渡り其南岸なる濟南府に達す

黄河の源は西の方數百里なる崑崙山中の星宿海に發し青海の南を流れ積石山の麓を流れ北流して長城の外に出で賀蘭山陰山等の東南を流れて再ひ長城の内に入り東流して渤海に入る其流域は原野大に開け支那最古の文明を胚胎せる地なり

濟南府は山東省の首府にして周代の齊魯兩國の故地を管轄し人口二十萬ありといふ北京を距ること百三十餘里風俗質朴なり産物は絹帛なり其南に支那五岳の一なる泰山あり濟南府より南行して江蘇省に入り淮江を渡り支那中部第一の大河楊子江の南岸に達し楊洲府に入る

楊子江の源も亦遠く西方西藏の地方にあり黄河の南に起り南流して緬甸の境に近く之を金沙江といふ更に東北に流れて岷江嘉陵江を并せて東流し黄海に入る其長一千二百餘里其流水の量南亞米利加のアマゾン河アフリカのコンゴ河及び南アメリカのラプラタ河を除けば肩を比するものなるといふ

揚州府は人口三十六萬の一大都會にして古來繁華の地として詩人の吟咏に上れる所なり是より江を渡れば江寧府あり即ち南京是なり

南京は又應天府といひ支那第一の饒富の地たる江蘇省の中心にして漢晋以後楊子江流域の文明此に集り人口四十萬或は百萬と稱し支那中古以降技藝文華の淵叢にして寺觀宏壯華麗な

るもの多く其磁塔は世界に喧傳せる所なりしが長髮賊の亂に破壊せられて今は亡し南京より江に順て下れば上海あり長崎を距ること海上四百七十二哩楊子江の河口より吳淞江を溯ること七里にして達す人口六十萬あり支那第一繁華の海港にして全國貿易の過半は此港口を經といふ輸出品は生絲茶にして輸入品は阿片織物なり日本との貿易も亦尤盛にして重に海産物を輸入す

上海の西十數里に蘇州府あり人口百萬或は二百萬と稱し吳江に枕み大湖を襟し水利に便に舟船四集し茶穀物の產地として殷富支那第一と稱す

蘇州より南行すること三十里にして浙江省に入れば杭州府あり北京を距る五百五十里新條約により清國の我國の爲に開け

る諸港の一にして錢塘江の北岸に瀕し居民八十萬或は百萬と稱し其一半は樓房を水上に架して江上に往す風景文物の美商買産業の盛蘇州と伯仲の間にある

抗州の東南六十三里に海に沿て寧波あり人口二十五萬あり更に六十余里の南に海に沿て温州あり人口八萬共に浙江省の開港場なり

杭州より南行して福建省に入れば海に臨て福州あり省の首府にして人口六十三萬あり一大貿易港にして茶の輸出盛なり

其西南十七里に厦門あり周廻三十里の一島なるも居民十萬貿易頗る盛なり支那南海の北門を扼するを以て臺灣に對し軍事上重要な地なり鄭成功嘗て此に據り明朝の恢復を圖り

臺灣を取りしが厦門を失へる後踵で臺灣も亦清に歸せり
以上見たる諸省は皆な沿海の地にして渤海より支那東海に
至る間にあり

厦門より海に沿て西南に行けば廣東省に入り潮州あり唐代
に韓昌黎の貶せられて來りし地なり是より西行して惠州を
經て廣州府に出づ

廣州府は一に廣東といひ廣東省の首府にして北京を距ること
七百八十餘里珠江の北岸に瀕し海を距る十五里人口百八十萬
城は分ちて南北二城とし南を舊城といひ北を新城といふ大街
溝渠縱横に通じ街中雜沓を極め肆店櫛比し房船を連ねて住居
し水上に市街を構へたるは一奇觀なり商業盛に製造の諸品亦
た精巧なり支那人中勇壯にして進取の氣あり商買に巧に工藝

に長するもの廣東人に如くものなり四近土壤肥沃物産豐饒に
加ふるに舟船の利を以てし米、茶、絲、麻、綿花を出し貿易甚た盛なり

珠江の上流は西江といひ雲南貴州の境に源を發し東流して
廣西省を流れ桂州を経て廣東省に入り北江の水を合せ廣州
城の南に至り東より流れ來る東江を合せて珠江といひ伶仃
灣に入る西江の航程百十餘里北江東江共に四十餘里なり
廣東より北江を溯れば韶州あり是より東北に進み江西省に
入り贛州吉安を経て其首府南昌に達す贛江の東岸に瀕し鑛
物米穀絲綿花を出す北京を距ること四百六十四里
南昌を發して北行すれば南康あり廬山を負ひ鄱陽江の西部
なる彭蠡湖に臨み風景絶佳なり更に北に進めば九江あり

楊子江に枕み鄴陽江を控へ江西省の咽喉に當り茶の輸出地にして百貨の集散甚た盛なる通商港なり江を渡りて安徽省に入れば其首府安慶府あり

安慶府は楊子江に臨み小孤山あり江岸に峙ち兩岸相迫りて大江の口を扼し北京を距る三百八十里なり是より北に向ひて進めば廬州府あり人口五十萬の一大都府なり其近傍に李鴻章の生れたる合肥あり更に北に向へば明の大祖の起れる鳳陽府あり其北に淮河あるを以て此地方を淮南といふ淮河を渡りて江蘇省の界に至れば睢陽あり徐州を経て山東省に入る北進すれば交州府あり其東四里に魯國の故都曲阜あり孔子の廟あり交州より北すれば再び德州に出で涿州に歸る以上經過せる諸省は廣東の外皆を海に瀕せずと雖も楊子江

淮河 鄴陽湖等あるを以て交通便に産物多く人民殷富なり

涿州より西南に進めば保定府あり北京を距る五十里直隸省の首府にして人口十五萬あり山西 河南兩省に至るもの皆路を此に取るを以て商賈雲集し省中繁華天津に亞ぐ是より十餘里に正定府あり是より西に向へば山西省に至るべく南に向へば廣平 大名の諸府を経て河南省に入り黄河を渡れば其首府開封府あり

開封府は黄河の南濱に在り古來水害を被ること多きも西黄河上流地方を控へ東南中原の大平野に臨むを以て要樞の地にして事ある日は常に争地たり

河に沿て沂れば滎陽あり漢楚の興亡を賭せる要地なり其西南に五岳の一なる嵩山あり洛水其西北麓を流れて黄河に入

る
 洛水の西に河南府あり即ち往昔洛陽なり其西南に伏牛山あり山嶺西に走りて遙に崑崙山に連れり伏牛山の南に南陽府あり其東に汝寧府あり開封府の南六十五里にあり汝寧より南行して湖北省に入れば武昌府あり
 湖北省の首府武昌は北京を距る四百十二里揚子江の南岸に臨み漢江西北より來りて武昌の東にて揚子江に合す其合流點に武昌に對して漢口漢陽の兩市あり長江を往來する汽船は此地に至りて止むなり武昌は人口三十萬あり高壁廣衢あるを以て有名なり
 漢口は人口七十七萬五千あり通商の港口にして貿易盛に茶を輸出すること最も多く商賈四川湖南雲南河南諸省より來り歐

人も亦た來り集る此地方人烟の稠密なること蘇杭に譲らず吳楚の交南北の要津とす
 其東に黃州に赤壁の故戰場あり其西北九十七里に襄陽府あり其西百十四里に荊州あり共に形勝の地にして事ある毎に必争の地なり其近傍に沙市の開港場あり
 荊州の西四十里に宜昌あり大江の北岸に瀕し三峽の口を扼し亦た通商港にして繁華漢口に亞ぐ
 武昌より江を泝れば南岸は湖南省に屬し岳州府は洞庭湖の口に當り古の巴陵の地なり是より湘江に溯り西南に行くこと四十二里に長沙府あり北京より此に至る六百五十里亦た荆楚の要地にして湖南省の首府なり
 是より南行すれば衡山あり其南に衡州あり更に西南に向て

進めば廣西省に入り桂林に達す

桂林は西江の支流桂江に瀕し北京を距ること一千六十餘里廣西省の首府なれども市街寥々たり蓋し廣西省は支那政府の文化未だ洽からずして蠻民僮人獠人等山中に棲むものあり

是より江に順て南に降れば柳州あり唐の柳宗元の來りて刺史なりし處にして風景の奇勝を以て著はる是より慶徳泗城を過ぎ西行して雲南省に入れば首府雲南府あり

雲南府は北京の西南千七百十余里にあり滇池或は昆明池と稱する湖の北岸にあり四川江西と緬甸との通商貿易の要路に當る省内に楊子江の上流金沙江湄公河の上流瀾滄江河底江等の大河あり金沙江は其北部を東南に流れ北に折れて四川に入り瀾滄江は西部を南流してサルウエン河となりて緬甸に入り瀾滄

江は瀾江の東に沿ひ南流して暹羅東京の境上を流れ河底江は又た其東を南流して安南に入る此地方は山嶽多く諸江皆な深き峽流を成す獨り東南西江上流地方に平地あり省内天産物の富源甚だ饒多なるも西南邊に僻在するを以て尙は未だ開けず雲南府の西に大理府あり瀾滄江の上流に位し洱海に瀕し七千六百尺の高地にあり

雲南府より西行して貴州省に入れば其首府貴陽あり

貴陽は北京を距る一千六十五里省の中央の平野に位し府城甚だ小なるも西南猛獁の蠻夷の鎮にして省内重要な河流は烏江あり産物は絲紙銀を最とし石炭鐵銅にも富む

貴陽より沅江に沿ひ東北に降り湖南省に入り洞庭湖の西なる常德府を過ぎ楊子江を流れは荊州に達す

荆州より江に溯りて西北に向ひ宜昌に至り是より西行すれば四川省に入り巴蜀の要地なる巫峽瞿塘あり夔州府を経て江に溯り西南に行けば嘉陵江の北より來りて長江に合する處に重慶府あり

重慶府は人口二十萬の一大都會なり楊子江の西嘉陵江の南に沿ひて建ち江口より大凡一千哩の上流にあり長江漁船航路の極端に位するを以て重要なる埠頭なり

是より尙ほ江に溯りて西南に向へば叙州に至る岷江の長江に入る處なり是より岷江を北に溯れば首府成都府に達す

成都府は北京の西南六百七十餘里にあり廣袤四百餘方里人口三百五十萬の一大平野にして府城の居民八十萬と稱す支那にて最も清潔美麗の市街なり環らずに周圍四里の一大石壁を以

てし百工諸商各街を異にし滿州人は城の西部に住す成都府は三國の時先主の據り鼎足の勢を成せる地にして北に綿竹の險を負ひ長江に枕み東は巫峽に依りて吳楚の地に臨み西は西藏の咽喉を扼し南は雲南の背を拆ち支那本部西部の最も大都會なり

成都府より西行して雅州を経て鴉礮江を渡り巴塘裏塘を経て雲嶺の險を踰え金沙江を渡り西藏の高原に上り西行して人烟稀なる地方を行くこと數百里にして西藏の首府拉薩に達す

拉薩は西藏の法王ダライラマ(官名)政聽の在る處にして人口八萬其内僧尼一萬八千ありブラマプートラ河其南を流れ河南に一湖あり靈地として土人の詣るもの多し

西藏の地たるや東に雲嶺の險に據るのみならず南の方印度との境に世界一の最高嶺なる喜馬拉山あり北には崑崙の連嶺あり西と西南にはパミールの高地とカラコールの連嶺あり四面皆山にして内部も海面を抜くこと一萬五千ひありて世界最大最高の高地と稱せらる吐蕃の古地にして印度より佛教入りて僧侶政權を握り支那因襲して之をダライラマとして全土を管理せしむ

西藏より東に歸り再び成都に入り東北に向ひて縣竹を踰え劍閣の棧道を渡り嘉陵江を渡りて陝西省に入れば漢中府あり武門を過ぎ渭水を渡り鳳翔府に至り再び西安府に入る再び西安府を發し渭水を溯り西行すれば甘肅省に入り黄河の南岸に達し其首府蘭州府に入る

蘭州府は北京の西五百七十里に在り黄河に臨み風景甚だ美なり人口五十萬ありと稱す産物は烟草阿片石炭多く地味穀物茶等にも適す此地は十八省中の西北に位し北に陰山賀蘭山あり萬里の長城は省の西北嘉峪關に至りて盡く而して蘭州は西安府より新疆に至る通路に當り古來西北に事ある毎に兵を此地に出す

新疆とは漢代以後西域と稱せる地にして西洋人は或は東トルキスタンと云ふ崑崙山脈の北天山山脈の南の地方にして塔里木の沙漠其中央を東西に走り稀少の往民は其周邊の山に沿て部落を作る嘉峪關より西行して玉門縣に出で安西府沙州を過ぎ崑崙の支脈中最北なる祁連山の北麓に沿て西行すればチエルチエン克里雅等小市街あり克里雅は玉(軟玉)の

産地として名あり其西に和闐河畔に和闐あり人口三十萬の一大部落にして市街の人口は四萬許古干闐といへる地にて崑崙より出る玉とは此地方のものを云ふなるべし其西に英吉沙爾あり又た其西に葉爾羌河に臨みて葉爾羌あり人口十二萬其西に喀什噶爾あり人口八萬あり之より天山の北に沿ひ東に歸れば烏什阿克蘇庫車あり之より東南に向へば安西に至るを得べし庫車より東行して哈喇沙爾に出で是より東行すれば廣西城即ち吐爾蕃あり更に東すれば哈密及鎮西府あり其北に巴爾庫泊あり天山の北麓なり此地は漢の武帝の時博望候張騫を遣り西域に使し月氏に通せしめたるとき始めて支那に知られ其後支那より中央亞細亞に通ずる道となれり

是より天山の北麓に沿ひ西行すれば古城を経て烏爾木齊に達す人口三萬或は一萬ありといひ唐の頃既に支那に知られたり是より更に西行すれば伊犁河の流域に入り伊犁或はグルヂアあり政廳の所在地にして露領バルカシユ地方より準噶里に入る關鍵なり人口三萬許嘗て露國に入りしが再び清國の收圖に復せり金玉瓊茶牛羊等を産す伊犁の北に塔爾巴哈台山脈あり是より以北蒙古に屬し是より東北に進めば亞爾泰山を越えて科布多あり其東には烏里阿蘇台より更に東北に進み鄂爾坤河の流域に入り流れに順て露境に入れば賣買城あり人口三萬の一大市街にして寺院多く喇嘛の第二の法王此に在り露領の哈克圖と相對して貿易頗る盛なり賣買城より南に歸り來れば鄂爾伸河の支流圖拉河に臨みて庫倫

(ウルガ)あり西比里亞に通ずる商路に當れり是より東南に向ひ沙漠を横り歸りて直隸省に入り宣化府に至り北京に歸るを得べし

蒙古の地方は中央に戈壁或は沙漠と稱する大沙漠あり氣候酷烈にして風強く雨少く此間に遊牧する人民は蒙古人韃靼人等にして牧畜を業とし農工を知らず水草を逐て去來し支那政府の政化洽からず然れども此地方の人民亦た英雄を出しカルムツク人の如き一時は中央亞細亞に勢力ありし人種なり匈奴の如き歐州の一半を馬蹄に蹂躪せる人種亦た沙漠の中より起れり

蘭州府より西安府に歸りて再び潼關に出で黃河を渡れば山西府に入り舜の都蒲州を経て汾河に溯り堯の都平陽を過ぎ

て省の首府太原府に入る

省内地味瘠せたるも石炭鉄を産し民俗儉朴商賈に適し蒙古及び伊犁との貿易の中心たり

太原府より東行して太行山を踰て井陘口を過ぎ直隸省に入り正定府に至り北京に歸る

以上述たる支那帝國は面積大約七十萬方里あり之を別て本部十八省滿州即ち東三省及び西藏、蒙古、新疆、回疆の諸部とし本部の内直隸、山東、山西、河南、陝西、甘肅の六省は黃河流域の地方にして之を北部支那といふべく江蘇、浙江、安徽、江西、湖北、湖南、貴州、四川の八省は楊子江流域の地方にして之を中部支那といふべく福建、廣東、廣西、廣南の四省は西江の流域及び其附近にして之を南部支那といふを得べし

其山脈の重なるものは西藏に起り雲嶺は北より南に走りて四川雲南の西を限り崑崙の支脈は東に延び蜀を過ぎ江河の間を走り洛陽の南に於て泰嶺山伏牛山となり太華山は其高峰なり河北には別に一支あり太行山恒山を崛起し之より離れて別に山東半島の山嶽あり泰山其一峰なり之より遼島半島に連り長白山に至るものなり江南には南嶺あり衡山此山群中に立てり「レース」階段は支那の北部到る處に目撃せらる

支那の氣候は緯度に従ひて寒暖の差を生じ且つ海岸と内地に於て大に懸隔し南部支那は殆んど熱帶性なるに中部北部は大に之と異にして一年寒暑の差甚しく滿州蒙古及西藏に至りては氣候全く寒帶の如し

氣候此の如きを以て産物も亦九種類に富み其内米、麥、高粱、粟、麥

第 四 圖



支那人中にも南北中部にて言語氣質を異にする然れども等しく

等は處に隨て生じ牧畜
 養蠶等の業も盛なり其
 一 鑛山には鹽、鉄、銅、金、銀、石
 炭を産す
 ス
 階 往民は總數四億内外あ
 階 り支那人(漢人)苗人、滿州
 段 人、蒙古人、西藏人等各全
 ノ くに言語、容貌、風俗、習慣を
 異にし文明の程度も亦
 圖 たる霄壤の差あり女子縮
 足の俗の如きも本部の

辨髮窄袖にして世界に周流して勞力を以て財貨を買ふの特性を具へ政治的團體としては常に醜体を露はすも商業的團體として未だ遽に輕視すべからざるなり

政体は君主獨裁政治にして今の國號を清といひ滿州に起り明國を滅して代り立てり

北京を辭し白河を下り天津より海に航して直隸灣を去り黃海に出で岸に沿て南行し山東省の膠州灣浙江省の舟山島等を望みて支那東海の南端なる臺灣海峽を過ぐれば支那南海に入り廣東省の海岸に沿て香港澳門の二港あり香港は一にヴィクトリアといひ長崎を距る海上千二百五十哩珠江の口より九十哩の海に在る一小島にして鴉片の亂により英國に割讓し英政府之を自由貿易港として出入船貨に課税せざるを以て船舶の出

入甚た繁く東洋第一の貿易市場たり全島花崗石より成り港内水深く市街は山麓に據り歐米人及び支那人の住居するもの凡そ二十二萬あり貿易品の重なるものは阿片棉花砂糖鹽麥粉油棉布毛布陶器等なり

澳門は其南にあり西江河口の一小島にして葡人三百余年前より來り此に住し一時は貿易甚た盛なりしが近來は商權全く香港に移り大に衰頽せり人口五萬六千あり其重なる輸出品は茶砂糖及び油類なり

其南に海南即ち瓊州島あり瓊州府は島の北部にあり港口を海口といひ亦た開港場なり

海南島の西には雲南省の南に接せる安南即ち印度支那の東海岸との間に東京灣あり灣の西岸には雲南より流れ出る河底江

の下流紅河あり河口に海防あり其上流四十里に河内府あり安南國の東京地方の貿易市場にして雲南の蒙自との間の貿易あり棉花を我國に輸出す

是より南に進めば安南王國の首府順化府あり

順化府は一にヒューエといひ官衙宮殿あり頗る宏大にして貿易市場としても亦た繁華なるも佛蘭西の附庸國となれり國王は虚名を擁するに過ぎず

順化より南に航すれば柴棍あり

柴棍は佛領交趾の首府にして湄江の派流にあり河口より三十餘里の上流にあり横濱より上海香港を経て海上二千三百八十六哩あり佛國の東洋軍港にして貿易港を兼ね人口十八萬の一都會なり

湄江は安南の西隣なる暹羅國を流るゝ大河にして上流は雲南の瀾滄江なり

安南は面積三萬七千方里の一大國なりしが近時は東京(北部)交趾支那(中部)東蒲塞及び佛領交趾支那(南部)の四部に分れ人口二千萬あり米、肉桂、綿、砂糖、煙草等を産す

柴棍を發して東蒲塞角を廻れば暹羅灣に入り暹羅王國の首府盤谷あり

盤谷は湄南河の右岸に建ち河口より二十哩の上流にあり日本の西南海上三千餘哩にして人口六十萬あり其王宮は宏壯にして市街寺院官衙等亦大厦多し河上に房船を浮べて居住する人民あり

暹羅王國は面積五萬二千方里人口六百萬あり日本人に似た

る褐色人種にして歐州の文明を採用し東北部には老樁族あり獸獵を以て生を營み他族に異なるも暹羅國の附庸たり産物には米、木材、金、鐵、寶石、象牙、犀角等あり

盤谷より右に馬來半島の東岸を見つゝ南行して其極端に至れば新嘉坡あり大陸より距る一里にある小島にして赤道直下にある英領の一貿易港にして半島は蘇馬太拉島と相對して狭き海峡を成し港其門戸たるを以て東西兩洋貿易の要地にして印度諸島及び南洋諸島に抵る船舶亦た皆此に寄港す人口十六萬橫濱より上海香港を経て此に至る海上三千四百三十八哩日本より歐洲に往來するもの必ず之を經るなり

新嘉坡より半島の西岸に沿て北に向へば彼南あり亦た英領の開港地なり更に北行すればマルタバン灣に入りイラワヂ

一河の河口に建てるラングーンに達す

ラングーンは緬甸の貿易港にして支那雲南地方に通ずる貿易線路の南端に位し是より鐵道により北行すれば國都マンダレ

一府ありイラワヂ一河の左岸に立ち人口七八萬の一大都會なり

緬甸は面積四萬七千方里人口三百萬あり土地肥沃にして産物に富み米穀より麥、砂糖、棉花、煙草、木材、象牙、麝香の類を出す十年前まで獨立王國なりしが今は英國の版圖に歸せり人民は褐色にして深く佛教を信奉す

以上見たる地方は西洋人の後印度と稱する地にして支那帝國より南に走れる一帶の山脈其脊梁を成して遠く延ひて馬來半島を成し其東には安南暹羅あり西には緬甸あり馬來半

島の南端はマラツカにして英國に屬して英領海峽植民地と稱するもの是なり此諸國皆赤道と北回歸線の間にあるを以て氣候炎熱なるも産物多く人民生業を營むに意を用ず一旦西洋人の東來するに及び相踵で其掌中に歸し暹羅の一國のみ僅に獨立國の命脈を維持するに過ず亦た憐むべきなり

ラングーンより西北に進みてベンガル灣に入ればガンジス河口三角洲地に英領印度の一大都府ありカルカッタといふ印度の首府にして人口九十萬あり印度大守此に駐紮す

ガンジス河は西藏と印度中部のデツカン高原の間を東流する大河なり其北なる西藏の境にあるヒマラヤ山脈は世界第一の高峰エヴェレスリ峰(二萬九千尺)其他諸高峰を有する大山脈にして其頂には四時氷雪を結ぶを以て雪山の名あり是より南流

する諸河皆ガンジス河に注ぎ河口に至れば山脈の北麓を東流するブラマプートラの水亦た來り合し上流より流し來る土砂河口に堆積する量夥しきを以て此に大なる平地を生じ一帯の沃野となれり

カルカッタ府より鐵道に依り西北に向ひガンジス河を溯ればブルドワン、バトナを経てベナレスに至る

ベナレスは人口二十一萬の大都邑にして織物阿片の製造盛に寺院多し其西にアラバットあり人口十八萬汽船の航海河口より此地に至る土人崇拜の靈場あり其西に人口二十七萬の大都府ラクナウあり更に西行すれば人口十九萬の大都府デリーありモンゴル帝國の故都なり

是より更に西行すれば印度河の上流地方に入りてラホーアあ

り是より尙西北に向ひて進めば鐵道は尙通じてペシヤワールに
 抵る是よりシエラ、バットを経て西の方アフガニスタンのカ
 ブールに通じヒンツークツシユの高嶺を北に踰ればアム
 河又はオクサス河の上流地方に出で葱嶺を踰て支那のカシユガ
 リア及び露領中央亞細亞に通ず往古唐の時玄奘三藏法師の支
 那より印度に入るや此通路を取れり

ラホーアより印度河に沿て汽車にて西南に降ればローリに
 至り河を渡れば一支線ありベルナスタンの北疆ホシヤツク
 嶺より來りて之に會す河に沿ひて下ればハイダラバットの
 市街あり

鐵道は尙ほ進みてアラビア海に濱するカラチー港に至り海
 に航して岸に沿ひ東南に向ひポルバンダルより再び上陸し

て鐵道によりて東南に向へば孟買港に達す

孟買は人口八十萬あり西海岸第一の大都府にして亞細亞屈指
 の大貿易港なり印度の諸市中最も美麗なるものなりといふ海
 岸の小島にして本土との間に橋梁あり歐亞往來の汽船の出入
 繁く綿花阿片の輸出甚な多し

是より鐵道により東北アラハバットに通じ東南に向ひ半島
 を横りマドラスにも通ずマドラスは東海岸の都會にして
 人口四十二萬あり一大貿易港なり

マドラス港を出で東岸即ちコロマンデルの海岸に沿て南に
 進めば海岸にボンヂシェリーカリカルの二佛蘭西領あり更に
 進んでデツカン半島と錫蘭島の西岸の間にあるポール海峽
 を過ぐればマナール灣ありて島の西岸にコロンボ港あり

コロンボ港は印度洋上の要港にして人口十三萬あり咖啡、肉桂、茶、烟草、椰子等を産す錫蘭島は釋尊降誕の本地にして島内の住民三百萬あり茶の産地にして日本支那に頡頏す

是より半島の南端コモリン角を廻りてマラバル海岸を過ぐればゴアといふ葡萄牙國領の一小地あり再び孟買港を経てアラビヤ海を西北に進みオマン灣を過ぐれば波斯灣に入る以上見たる英領印度は面積二十四萬五千方里人口二億九千萬の大國にして北はバミール高原カラコールム、ヒマラヤの諸高山により西藏及び中央亞細亞に界し東は英領緬甸に連り西はアブガニスタン及びベルチスタンに界し南は三角形の一大半島を成して印度洋中に突出し其尖端に錫蘭島あり半島の高原の山嶽は東なるを東ガツ諸山といひ西なるを西

ガツ諸山といひ其河流は東に流るゝものにゴダヴェリー、キストナあり西に流るゝものにはナルブダ、プナあり而して此高原と大陸諸山脈の間には北にガンジス河あり西北に印度河あり就中ガンジス河の流域は印度古代文明の發生せる地にして今又盛大なる都邑多し

氣候は北部の高山と南部の間には大差あり低地の炎熱は甚しく暑熱は四、五月及び十月にして六月より九月の間は西南氣候風吹きて此間には雨量の多きこと世界第一なり其天産物の富は世界有数の地位を占め米穀、茶、阿片、珈琲、砂糖、棉花、黄麻、藍等を出し石炭、鐵、金銀、諸寶石をも出す綿花の製造業の如きも亦た盛大なり人民は印度人と稱し歐州人と同じく白哲人の一種にして人文早く開け婆羅門教、佛教等の諸宗教此地

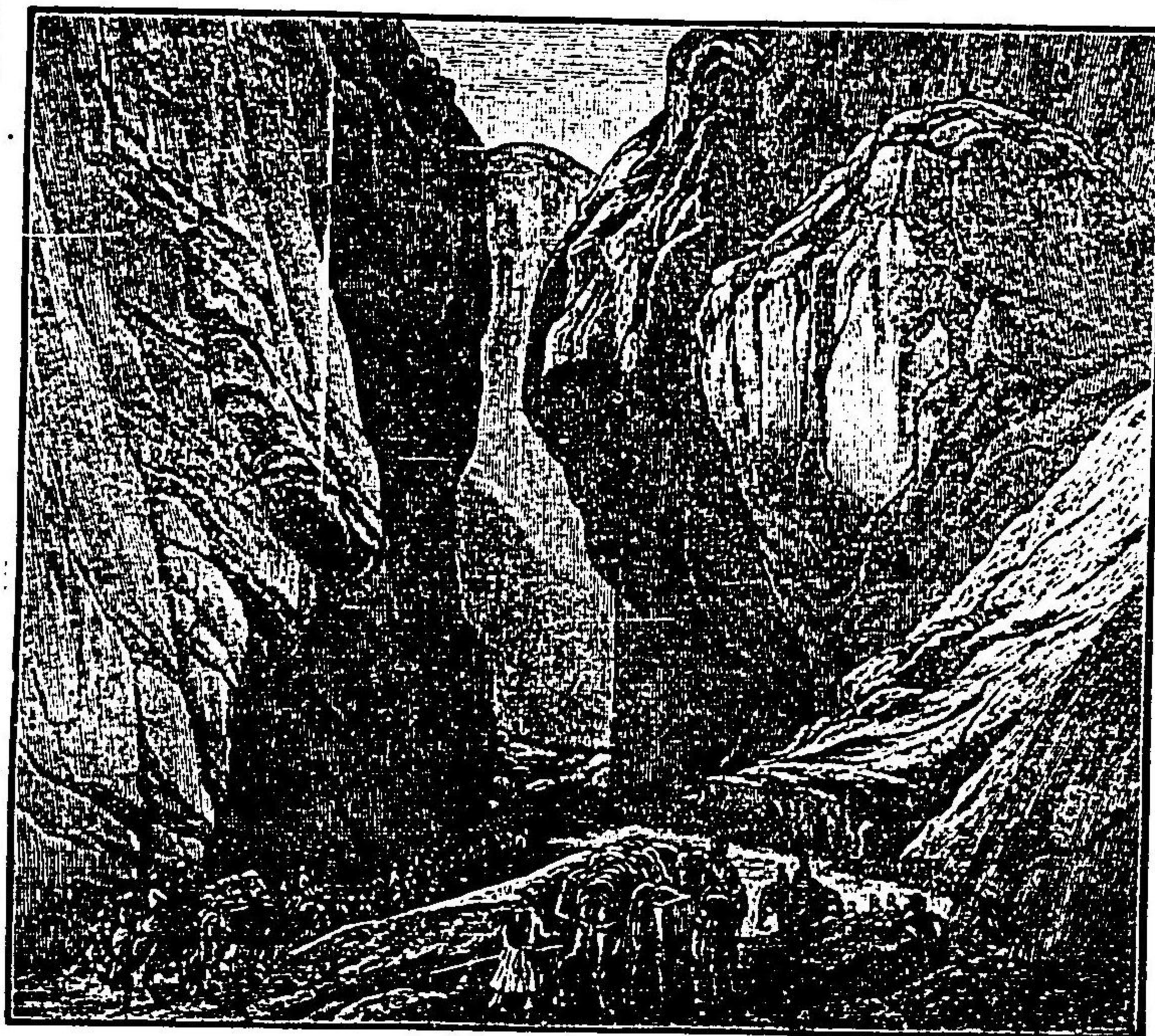
コロンボ港は印度洋上の要港にして人口十三萬あり咖啡、肉桂、茶、烟草、椰子等を産す錫蘭島は釋尊降誕の本地にして島内の住民三百萬あり茶の産地にして日本支那に頡頏す

是より半島の南端コモリン角を廻りてマラバル海岸を過ぐればゴアといふ葡萄牙國領の一小地あり再び孟買港を経てアラビヤ海を西北に進みオマン灣を過ぐれば波斯灣に入る以上見たる英領印度は面積二十四萬五千方里人口二億九千萬の大國にして北はバミール高原カラコルム、ヒマラヤの諸高山により西藏及び中央亞細亞に界し東は英領緬甸に連り西はアブガニスタン及びベルチスタンに界し南は三角形の一大半島を成して印度洋中に突出し其尖端に錫蘭島あり半島の高原の山嶽は東なるを東ガツ諸山といひ西なるを西

ガツ諸山といひ其河流は東に流るゝものにてゴダヴエリー、キストナあり西に流るゝものにはナルブダ、プナあり而して此高原と大陸諸山脈の間には北にガンジス河あり西北に印度河あり就中ガンジス河の流域は印度古代文明の發生せる地にして今又盛大なる都邑多し

氣候は北部の高山と南部の間には大差あり低地の炎熱は甚しく暑熱は四、五月及び十月にして六月より九月の間は西南氣候風吹きて此間には雨量の多きこと世界第一なり其天産物の富は世界有数の地位を占め米穀、茶、阿片、珈琲、砂糖、棉花、黄麻、藍等を出し石炭、鐵、金銀、諸寶石をも出す綿花の製造業の如きも亦た盛大なり人民は印度人と稱し歐州人と同じく白哲人の一種にして人文早く開け婆羅門教、佛教等の諸宗教此地

第五圖



ゴラシ山路の圖

方に起りて亞細亞に蔓延せり然れども屢々外人の侵略を被り今は全く英國の屬地となり商工業大に起り多量の棉花を我國に輸入す
印度河の西北に境を接するアフガニスタン
はヒンヅークツシユ山脈の南にありベシヤワーより西北に

進めば國中第一都府カブールあり人口六萬ありて風景甚だ美に且つ中央亞細亞印度間の往來の要路に當るを以て英露兩國争地たり此の西北部に人口四萬五千あるヘラットありアフガニスタンの南に位し南はアラビヤ海を限りてベルグスタンあり印度のシンドよりポーラン山路を越へ此の國のクエッタに達すを得可し其重なる都會はケラットといふ兩國何れも酋長の管轄する所にして英國の附庸たり
兩國を併せて面積七萬五千方里人口八百萬ありといふ伊蘭高原の東南部を占め氣候は寒暑の差甚しく土地礫礫産物少く人文未だ開けず人民回教を奉ずるもの多し國內分裂し小酋長各地に割據し内亂外患交々起れり
波斯灣に沿てブシール港あり波斯國の諸港中の重なるものな

り阿片の輸出及綿布の輸入あり
 灣の東北岸一帯の地は伊蘭高原と稱しアフガニスタン及びペ
 ルチスタンの兩國の西に連り之を伊蘭波斯王國といひ其首府
 は海岸より遙に隔たりたるテヘランなり人口二十一萬あり國
 の東部に沙漠あり北は裏海に濱し此に露西亞との貿易港レン
 ユトアリ裏海に沿ひてエルズルズ山脈あり東北は中央亞細亞
 に接し西北は高加索に連り北にタプリズあり人口十八萬の大
 都府にして西は土耳其に界し西南濱海の地亦た山嶽連亘し中
 央部に舊國都イスバハンあり人口八萬あり河流に乏しく寒暑
 甚たしく産物の重なるものは生絲、絹布、馬に過ぎず人民は沙漠
 地方の游牧民の外は著しく進歩し往古は歐亞無比の強國にして
 今尙は獨立國たり今の首府の外に舊都イスバハン、ケルマン

等の都邑あり面積九萬四千方哩人口九百萬ありといふ

波斯灣の西北隅にはナグリズ、ユウフラテス兩河の合流せる
 シヤト、エル、プラズ河の河口あり其右岸にバソラー市街あり
 其上流地方は上古文華大に開けたる處にして有名なるバビ
 ロン帝國の遺蹟はユウフラテス河の左岸にありニニベ府の
 遺趾はナグリズ河の左岸にあり其上流にバグダット市あり
 中古までは亞細亞貿易の一中心たり今尙は人口十八萬の大
 都府なり此地方今は土耳其帝國に屬す

波斯灣の西南岸に沿て亞拉比亞あり灣を去りてオマン灣に出
 づればムスカットあり人口六萬オマン獨立國の都會なり椰子
 砂糖を出す是より西南に向ひ此國の海岸に沿てアデン灣に達
 する間は内地すべて高原にして且つ多くは茫々たる沙漠なり

南の沿海の高原はハドラマウトといひ其北に一帶の沙漠あり中部はチシドといふ高地にして國の北部にも亦たチフドシリア等沙漠あり

亞丁港は亞丁灣の北にある火山質の一小半島なるも紅海の入口にあるを以て英國に屬して商業及び軍事上重要な地位にあり附近の屬島を併せて人口四萬に過ず、酷熱の地にして山皆赭く草木稀少にして産物なし

是より亞拉比亞と亞弗利加洲の間を限れるバプ、エル、マンドアの海峽を過ぎ左に亞弗利加洲のアビシニア高原を見右にアラビアのエメン地方を見つゝ西北に進めば回教の法祖モハメットの誕生の地として有名なるメツカの都府あり人口四萬五千あり今尙ほ回教徒の神聖の地とする所にて巡禮者

多し其南にメダナあり亦靈地とする所なり

亞拉比亞は亞細亞、亞弗利加の間横れる四角形一大半嶋にして面積二十萬方里あるも河流湖水なく其大部分は不毛の地にして交通悪しく氣候酷熱にして雨少く産物は波斯棗、咖啡、椰子等にして駝鳥、馬、駱駝、羊等の外動物の富も少く人口千萬内外に過ぎず人民はセミナツク種にして往古天文宗教等に悠遠なる思想を有せし人民なり

左に埃及國を見つゝ進みて亞細亞、亞弗利加兩大陸の界をなせる紅海の北端に至ればシナイの半島あり耶蘇教徒の靈地なり其西岸に沿ひてスエズ灣あり其北端にスエズ港ありスエズは埃及國に屬し人口一萬に過ぎざるも千八百六十九年(二十七年以前)開鑿せられたるスエズ運河の南端に位し西は國

都カイローの西北はアレキサンドリアに通ずる鐵道あり運河は全長三十五里其間湖水九里あるを以て開鑿を要せし長は二十六里なり運河の北端を(ポートサイド)サイド港といひ地中海に臨み人口一萬六千あり歐亞交通の咽喉の地なり
スエズ運河を過ぎて地中海に出で再び右岸に沿て進めば一帯の地はナグリス、エウフレナス兩河の流域地方に連り土耳其國の亞細亞領に屬す
シエルサレムとて耶蘇基督の誕生地にて有名なる都府は海岸より鐵道にて達するを得べく其東に死海あり其水面地中海の面より低きこと千三百尺にして鹽分甚た多し
其北は地中海最古の商業國フェニシアの故地にしてナール、シドンなどの諸港ありバイルート港より鐵道にて其内地

にあるダマスカスに至るを得べし
ダマスカスはシリア地方第一の都府にして人口二十萬あり鐵器の製造を以て古來有名の地なりバイルート港亦た沿岸にて最も盛なる貿易地なり
シリアの北部にアレツポ地方の大都會アレツポあり人口十二萬亦有名の商業地なり
以上見たるレヴァントと呼はるゝ地方を辭し西に向へばサイプラス島あり英國の領地なり是より西より北に繞りて再び東に向ひダルダネルス、ボスフォラスの兩海峽を過ぎて黒海に入り其南岸に沿て進めば小亞細亞の半島を廻り得べし而して半島の南端は海中島嶼多く多島海の名あり此に海に臨める都府スミルナあり

スミルナは亞細亞土耳其第一の大都府にして人口二十萬あり古來有名の商業地にして近傍にエフィサス、トロイ、ミレタス等歴史上の遺跡甚た多し

ボスフォラス海峽に土耳其の首府コンスタンチノープルに對してスクタリあり人口三萬の一市街にして是より鐵道東に延びてアンゴラに至る

北岸にはコーカシアに近くトレビズン港あり人口四萬五千
黒海の一要港なり

亞細亞土耳其は面積十一萬二千方里人口アラビア屬地を併せて二千餘萬あり其地たる小亞細亞に於て高く二三千尺の高原をなしタウルス、アンタタウルス、ポンチツクの諸山脈ありてアルメニアの高地にはアララットの高峰(一萬七千二百

尺)を崛起し南に延びてシリアに入りレバノン山となり其東南部はアラビアに至る間低地にしてシリア沙漠となりナグリリス、ユウフレテスの低地となれり其氣候は小亞細亞の外溫和にして西部雨多く穀物、煙草、珈琲、鐵、石炭等を産す人民は韃靼人多く猶太人之に交り宗教は回教徒多く耶蘇教徒は近來虐殺せられアルメニア事件は歐州の一葛藤たり

コンスタンチノープルはスクーターの對岸に立ち土耳其即ちオトマン帝國の首府にして人口八十七萬黒海より地中海に通ずる水路の咽喉を扼し地利西亞東歐を控制するに足り往古東羅馬帝國の首府となりビザンチンと云ひ宮殿堂塔宏壯なるもの多く商業上亦た重要な地位に在り桅檣港内に林立し百貨埠頭に四集す東歐の大鐵道は是より起りて西北に進みセルヴィ

アの首府ベルグラードに至り中央歐羅巴に通ず
 土耳其帝國は現在の面積一萬余方里人口四百八十萬に過ぎる
 も其亞細亞、亞弗利加に於ける領土及び名のみの附屬諸國を并
 すれば面積二十七萬方里に餘り人口四千萬に近し一千餘年前
 韃靼より起りアルメニアを略し小亞細亞を取り西曆千四百五
 十二年終にコンスタンチノールを陥れて東歐に割據し其國
 力甚た盛にして嘗て匈牙利を侵し澳太利の首府ヴィーンを圍
 みたることありしも千六百年頃より次第に衰運に向ひ領土蠶
 食を被り復た昔日のオトマン帝國に非ざるなり

海峽を過て黒海の西南岸に沿ふて進めばルーマニアにブル
 ガス灣アリテブルガスの市街之に臨み是より鐵道によりて
 内地に入ればコンスタンチノールよりベルヅラードに往

くもの合し西進して首府ファイリツポポリスに達するを得
 べし

ブルガス灣より更に北に向へばブルガリアの海岸にヴァル
 ナ港あり是より上陸すれば鐵道によりて此國と北隣のルー
 マニア國の間に流るゝ大河ダニユープ江に臨みてルスナユ
 ックあり是より更に鐵道によりてルーマニアの首府ブハレ
 ストに至るを得べし

ブルガリアの首府はソフィアと云ひファイリポポリスの西北
 に在りてベルグラードに至る鐵道線上に位し人口四萬七千
 の一都會なり

此兩國はブルガリア公國の統一する所にして西曆千八百七
 十八年の「ベルリン會議」によりて自治權を得て土耳其の附庸

國となれり兩國の間にはバルカン山脈東西に走り延て西隣國なるセルヴィアに及ぶ故にルーマニア、セルヴィア、土耳其を并せてバルカン半島と呼ぶなり

更に黒海の沿岸を北進してダニユーブ江の河口に達すれば是より北は露西亞國にして河を溯れば兩國の境界を流るブルート河のダニユーブ江に合する近傍にガラツ府あり是より鐵道北に向ふものは西隣國なる匈牙利國の北境を通過して北獨逸の伯林に通じ西南に向ふものに依れば國都ブハレストに至る

ブハレストは人口二十萬ありダニユーブ河流の一大都會なり農産物に富み且つダニユーブ江及び鐵道によりて匈牙利に交通する便あり商業亦た盛なり

ルーマニア王國亦た伯林會議によりて確定し獨立の立憲王國となりしも露西亞南下の途に當るを以て歐羅巴諸強國の權力平衡を失ふ時は必ず爭亂の地となるべし

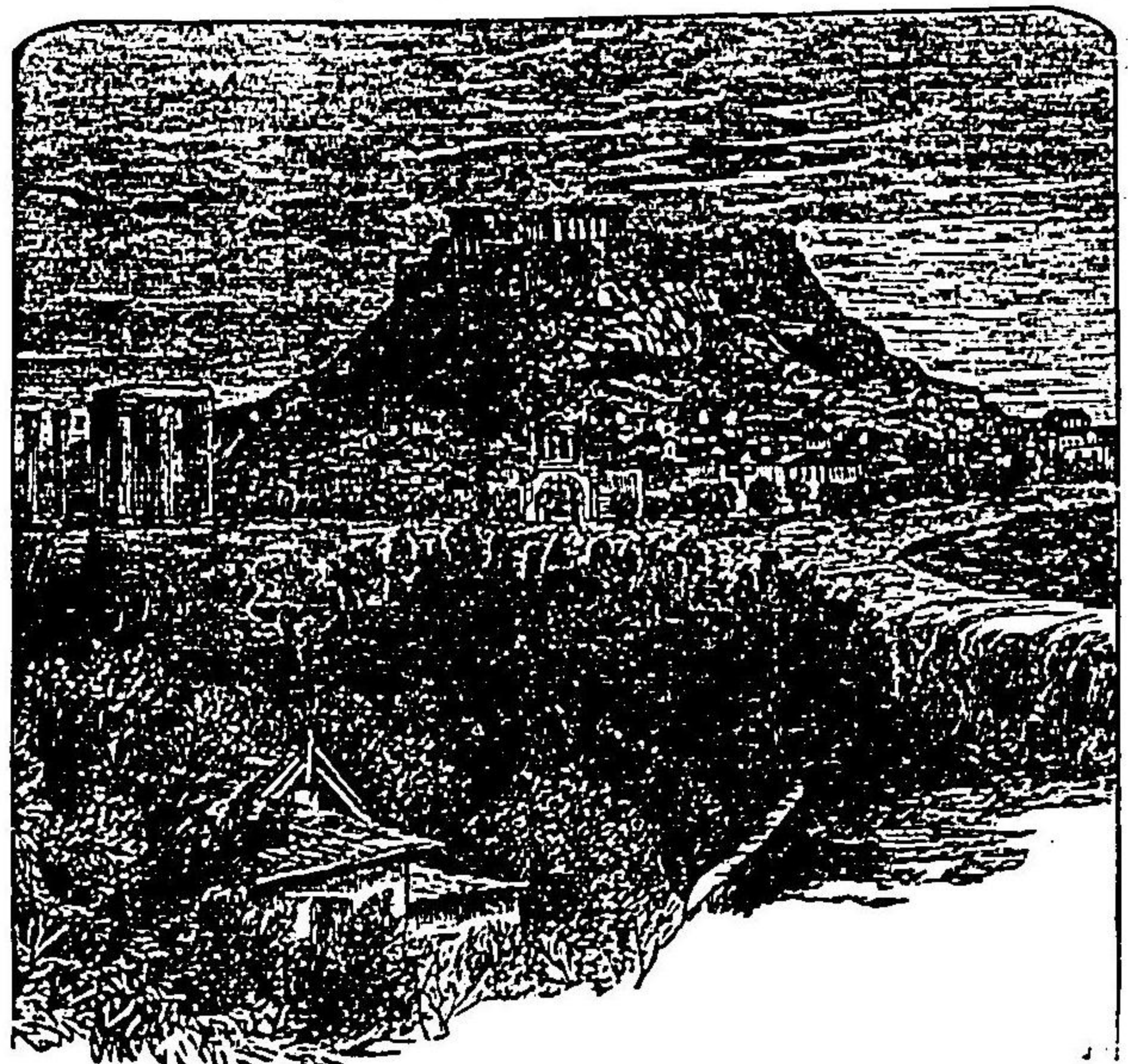
ブハレストよりダニユーブ江を渡りてブルガリアに入り其首府ソフィアに向ひ進めば露土戰爭の時激戦ありしプレヅナを経てバルカン山脈の東部を横るべしソフィアより鐵道によりてコンスタンチノープルに向へばアドリアノープルあり人口七萬の一大都會なり

コンスタンチノープルを辭しマルモラ海ヲ過ぎダルダニルスの海峽を通りて多島海即ちエゲア海に出で土耳其の南岸に從て西行すればアドリアノープルの南より分れ鐵道支線の極端デ、アガツチあり是よりハギオンオロス、ロンゴス、カ

サンドラの三半島を廻ればサロニカ灣あり
サロニカ港は其北隅にあり人口十五萬の大都府にして中央
歐羅巴に通ずる門なるを以て繁華の貿易港にして英國との
通商頗る盛なり

是より土耳其西部の一都會モナスナルに通ずるに鐵道あり
然れども最も重要なるは是よりウスクブを経てセルヴィア
國のベルグラードに通ずる線路なり是線路を北行してセル
ヴィアに入りニスに至りソフィアより來る線路に合してモ
ラヴァ河に順て北行し其ダニユーブ江との合流點に至らず
して上流より折れて西北に向へはベルグラードに達す
ベルグラードはセルヴィア王國の首府にして人口五萬六千
あり

第六圖



アゼンの城砦

西北より來るダニユーブ江と西より來るサル江との合流點
の南岸に立ち是より匈
牙利の首府ブダペスト
に通ずるに河運鐵道の
便あり
此國は面積三千二百方
里人口二百二十六萬あ
り伯林條約により土耳
其の覇絆を脱して獨立
せり
以上見たるバルカン半
島の諸國は地勢山嶽多

く獨り一千哩に近きダニユーブの長江の下流は平野肥沃にして産物に富むのみ然れども氣候酷熱にして人口少く人文の發達未だ幼稚なるを免れず

サロニカ灣を辭して南航すればギリシア國の海岸は出入繁く島嶼岬灣多くして一々枚擧するに暇あらず岸に接せるエウペア島獨り大なりスポレード諸島其北にありアイクレード諸島其西南にあり其極のサントン島は有名なる火山島なり之を過てコロナ角をめぐるてエジナ灣に入ればアデンスあり

アデンスは希臘王國の首府にして人口十萬餘あり歐羅巴文明の曙光を放てる都府なり

是より南に航すれば半島の南端のラコニア灣の内地にスバ

ルタあり其市民は往昔武勇の名を轟かせり北海岸より南數十里の海上にクリート島あり土耳其に屬す島を廻りて其西岸に沿ふて進めばイオニア海にして此海上にイオニア諸島散點し其一ハザンテ嶋にして之を過ぐれば東に深入せるペトラス灣あり其奥をコリント灣と云ひ西より灣入せるエジナ灣と共にヘレネナ半島を扼して狭きコリント地峽を成す更にケファロニア島を過ぎてアドリアナツク海に出づれば土耳其の西岸に達す

希臘は面積四千四百方里人口二百二十萬の一小國にしてピリダス山西北より來りてアデンスの北に至り之に並びてコリント灣あり以て全半島を南北二部に分ち南部はモレアと云ひ北部はピリダスの支脈オトリス山脈の北南をルメリアと

云ひ其北をテッサリと云ふ氣候温和にして土地肥へ各種の産物に富み商業盛なり其人民は「ヘレン」人にして曾て歐洲文明の先驅をなし其後久しく衰頽せるも八十餘年前土耳其の軛絆を脱して獨立の王國となり再び國運進歩の兆あり
 土耳其の西岸はエピルスの海中にコルフ島あり希臘に屬す其北なるアルバニアの地方を過ぐればモンテネグロの公國の海港ダルシニヨあり其内地には侯國の首府セナンエあり面積七百餘方里人口二十萬の小國にしてセナンエの人口千二百ダルシニヨの人口五千、四圍殆んぞ皆山にして人民牧畜農業を主とす全國の男子皆兵なり是れ叢爾たる小國にして能く獨立を維持する所以なり
 是より西北に向ひ進めば其北岸澳太利、匈牙利帝國の海岸に

して島嶼多く終にアドリアナツク海の西北隅を窮むればイ
 スリアの小半島あり其東北隅にフィウメ港あり
フィウメに上陸して東北に進みサウ河、ドラウ河を渡りて匈
 牙利の平野に出ればブダペストあり
 ブダペストは匈牙利の首府にしてダニユーブ江に跨りて立ち
 ブダは右岸にペストは左岸に在り人口五十萬ありて工商の業
 盛なり是より鐵路東南に向へばダニユーブ江の支流タイス河
 に近くナエゲゲン、マリアテレシオポルの諸市ありプスタと稱
 する肥沃なる草原此地に廣がり農産物の富頗る大なり
 若し又た東北に向へば匈牙利の東北を限れるカルパート山嶺
 を越へ露西亞と境を接せるガリシア地方に入り其重なる都府
 ヘムベルグに達す

ヘムベルグは人口十三萬あり穀物集散の市場にして鐵道西は露西亞黒海の海岸オデッサに至り東は東境クラカウを経て北獨逸の伯林に至る

クラカウは人口八萬の大都會にして其南には澳匈第一の高山ホーヘ、タトラ山あり

鐵道により西南に向へばモラヴィア州に入りブリエン府(人口九萬五千)を過ぎ澳太利に入り其首府ヴィンナに達す

ヴィンナは人口百三十六萬ありダニユープ江の上流の右岸に立てる中央歐羅巴第一の大都會にして澳太利匈牙利帝國の皇帝此に都す市街宏壯にして文學、工藝、商業共に旺盛なり

是より江を溯り西に向へば獨逸に入りミュンヘンに達すべく若し又た更に折れて西北に向へば北獨逸に流るムエルベ

河の流域に屬するボヘミアの窪地に入り北にプラーグ府あり

プラーグはエルベ河の支流モルダウ河畔に在り人口十八萬工藝盛にして特に毛布の製造を以て有名なり是より鐵道北はドレスデンを経てベルリンに向ひ西南はミュンヘンに向ふものあり、

若し又ヴィンナより西南に向へばグラーツ、ライバハを経て南行してイストリア半島の西北なるトリースト港に至り再びアドリアナツク海に出づ是より再び岸に沿ひ西に向へば伊太利國の東北岸にヴェニス港あり

ヴェニスは全市海岸の一小島を成し人口十五萬あり中世には東方との通商全盛を極めたる港にして今尙ほミランを経て佛

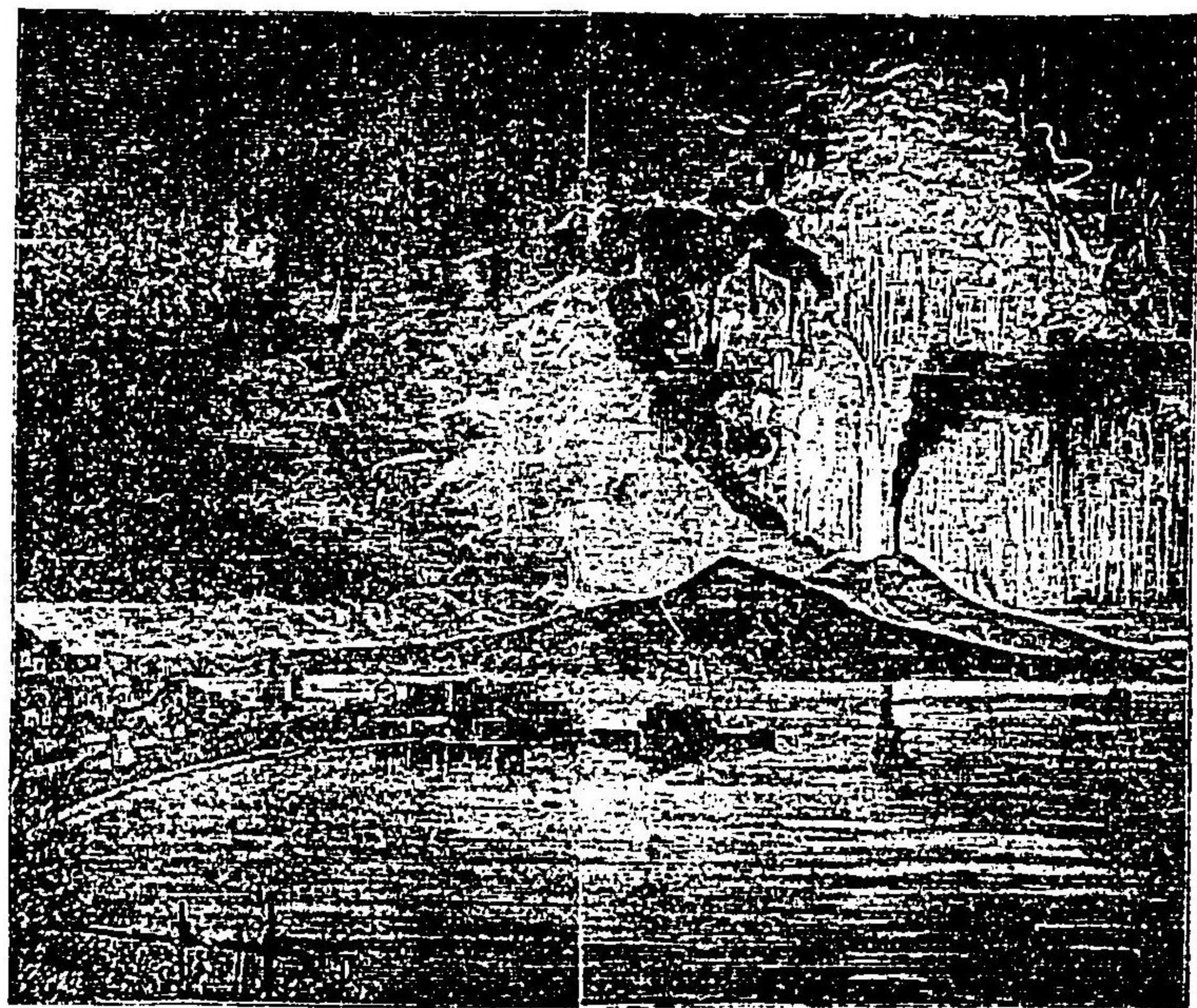
蘭西に通じヴェロナを経て南獨逸ミュンヘンに通じ貿易頗る盛なり

ヴェニスの南に國內の大河なるポー河の河口あり是より海岸に屈曲少くアドリアナツク鐵道之に沿ひて東南に走りサンマリノの小共和國の傍を過ぎアンユナ、フオギオレ等の市街を経て國の東南端プリンゼシーに至る

プリンゼシーは埃及國のアレキサンドリアに通ずる貿易港にして東方と佛國との間の鐵道の端なるを以て船舶の出入多し是より鐵道はタラントの灣を廻りて國の南端なるイスキア半島の端に至ればメツシナ海峽を隔て、シリ島のメツシナ港に對す

メツシナは島の東北端にあり人口十五萬ある一貿易港にして

第七圖



ベスヴィグ火山の圖

是より北岸に沿ひて西に進めば島の大都府パレルモあり人口二十八萬あり亦た貿易港なり若し又東岸に沿ひ南に進めばシラクサ港に至るを得べく此海岸に臨みて歐洲火山の巨擘たるエトナ火山あり其高一萬八百七十尺シリ島より南に航すれば五十八哩にしてマルタ

島あり一小島なれども良港あり英國地中海艦隊の根據たり
 メツシナ海峽を過て北に向ひて進めばリパリー諸島にスト
 ンボリー島あり絶ず小噴火をなすを以て地中海の燈臺の稱
 あり伊太利の西海岸には港灣多く特に大なるはチープリス
 (ナポリ)灣にして之に臨みてチープリス(ナポリ)府あり
 チープリスは伊太利第一の大都會にして人口五十二萬あり船
 舶の出入繁々ヴェスヴィヤス火山灣畔に峙ち氣候の温和風景
 の明媚なるを以て名あり

是より岸に沿ひ西北に進めばナヴェル河の河口あり其上流
 に羅馬府あり

羅馬は伊太利王國の首府にして人口四十五萬あり往古より羅
 馬法皇此に居り宮殿寺院宏大華美を極め「ユリシウム、ベートル」

寺「ヴァナカン」宮は殊に有名なり

更に西北に進めば海岸に近くエルバ島あり其西にナポレオ
 ンの生れたるコルシカ島ありコルシカ島の南にサルヂニア
 島ありサルヂニア島はシ・リー島に次で大なる屬島にして
 コルシカは今は佛國に屬す

是より進んでアルノー河の河口に近ければレグホルン港あり
 レグホルン港は人口十萬ある貿易港にして河の上流には中古
 商業盛大なりレピサあり更に浜りてフロレンス(フィレンヂユ)
 あり伊太利王國の初て起りし時暫く國都とせる地にして人口
 二十萬あり嘗て工藝美術の盛歐洲に冠たりし都府なり
 是より鐵道はポロニアに至りてアドリア海線路に合するを
 得べくポロニア府は人口十四萬あり歐洲最古の大學あるを

以て有名なりレグホルンより海岸に沿ふて進めば北隅にシ
 ユノア灣あり

伊太利最大の貿易港シユノアは灣に臨みて立ち人口二十二萬
 あり古來貿易繁劇の地にして伊太利の軍港となりてより堅固
 なる砲臺あり是より鐵道は海に沿ひて佛國のマルセイ爾港に
 至るものアペニシ山脈の東北端を横りてミランに至るものあ
 り

ミランはポー河流域の大都會にして人口四十三萬あり農工商
 の業盛にして繁華美麗を以て名あり是より鐵道の北に向ふも
 のは有名なるサンクト、ゴタルド隧道に由りてアルプス山脈を
 横斷して瑞西國に入りライン河の流域地方に通ず
 ミランの西にチユリン(トリノ)あり人口三十四萬ありモン、セニ

の隧道に由りてアルプスを越て佛國のリオンに通ずる鐵道
 あり

チユリンより鐵道によりて再びシエノアに歸り海に沿ひて
 西に進み伊太利國を辭して佛國に入りリースを経てマルセ
 イユに達す

以上見たる所の伊太利王國は面積一萬九千方里人口三千萬
 あり狹長なる一大半島にして大陸より東南に向ひ突出し其
 端は分れて二となり一は南に折れてイスキア半島となり其背
 梁を成せる山嶽はアペニシ山脈にして六百尺の高山グラン、
 サツソーを崛起し更に南に走りイスキアに至り餘脈海を踰
 えてシ、リー島に及び山脈の北にはポー河の平野廣衍に
 して農業盛に山脈の南にはアルノー、ナベル等各小平野あり

葡萄、橄欖、果實等を産し、輸出品の重なるものは絹、生絲、硫黃なり。氣候溫和なること歐洲第一と稱す。人民は羅丁人種にして、往古羅馬人の血脈を傳へ、人民は優美にして、技藝に巧なり。其宗教は羅馬舊教多し。中古には商工業國として地中海に肩を比すべき人民なかりしに、亞弗利加廻航の航路發見以後一時全く衰頹せるも、スエズ運河の開鑿とアルプス横斷鐵道の架設により再び商業國としての位置を恢復し、二十餘年の新起の國なるも、國運の進歩著しく、兵備過大なるが爲め、財政は困難を極む。

マルセイユ港はリオン灣の東隅にあり、地中海第一の貿易港にして、人口四十萬あり。歐亞の通商は過半は此埠頭を経ると云ふ。其東にツローン軍港あり。

是より鐵道ロース河を溯り北に向ふものは里昂、巴里に至り、西に向ふものはポードーに至るも、海に沿って西南に向へば佛蘭西と其南隣國西班牙の間を東西に走れるピレネー山脈の東端を過て西南に向へばバルセロナに達す。

バルセロナは地中海上の一大港にして、人口二十七萬あり、貿易工業共に盛なり。

是より鐵道西に向ひエブロ河を渡り、マドリッドに達す。

マドリッドは國の首府にして、人口四十七萬あり、國の中央なる高原上に立ち、是より西に向ひタグス河に順て降れば、葡萄牙第一の首府リスボンに至り、ツエロ河に順て降れば、全國のオポルト港に達するを得べく、西南に向ひガダルキヴィル河を降れば、コルドヴァ、セヴィヤを経てカヂズ港に至るを得べし。若し又東南

に向へば地中海の濱にヴァレンシア港ありヴァレンシアは人口十七萬の一貿易港にして其南の海上にマロルカ、ビチエセの兩群島ありマロルカ群島のマシルカ島にはバルマの市街あり是より岸に沿て西南に進めば南岸にマラガと云ふ人口十三萬の一都府あり其西南は地中海より大西洋に出るジブラルタル海峽なり

ジブラルタルはスペインの南島の極南端にあり二方里に過ぎる一小崑岬なるも歐、弗兩大陸相迫りて地中海の口を扼せる所なれば險惡無比の地にして英國之を領し砲塞を設け守備兵を置けり其對岸のアフリカにはセウタ港あり西班牙國之を領せり海峽を過て大西洋に出で西北に進めばカヂズ港ありコロンブス亞米利加探檢の際解纜せる地なり是よりガダルキヴィ

ル河を溯ればセヴィラ府あり人口十四萬あり更に上流にロルドヴァ府あり人口九萬ありカヂズより西に進めばグアダナの河口あり是より西班牙の西隣國なる葡萄牙國の沿岸となりサンヴィンセント角を廻りて北行すればマドリッド府の近傍より流れ落るタグスの河口にリスボン府ありリスボン府は葡萄牙國の首府にして人口二十五萬ありて繁華の大都府なり此國世界の商權を失ひしより大に衰へり更に北に進めばオポルト港あり人口十萬葡萄牙の輸出盛なり是よりミニヨ河の河口を過ぐれば其北は再び西班牙の沿岸となり西に廻れば其の北岸はビスケー灣に臨みサンタデル港あり灣の東岸は即ち佛の西岸なり以上一周せる西班牙、葡萄牙、兩國は佛國の西南に突出せる半

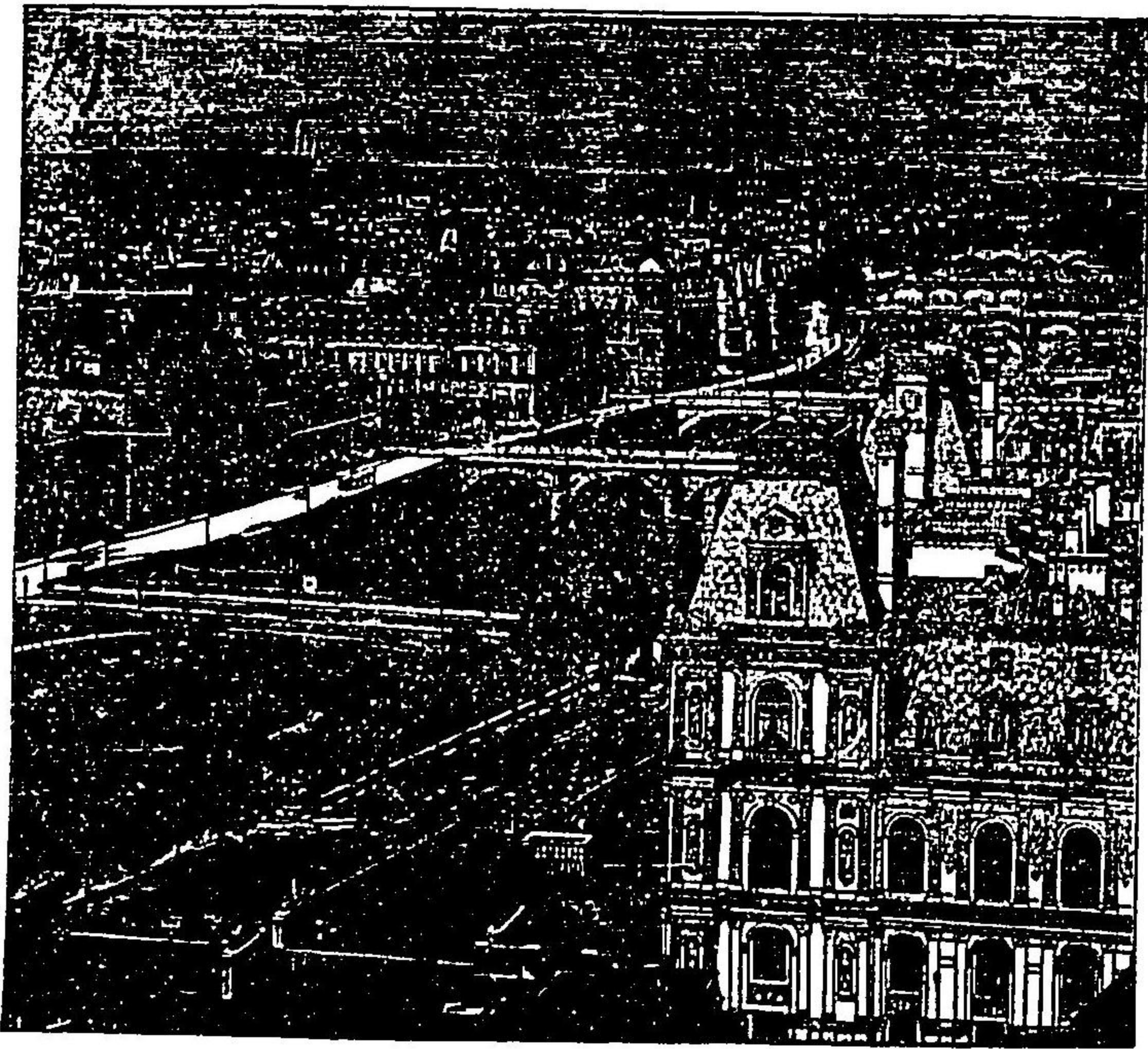
島にして或は呼でクベリア半島と云ひ西の面積六萬七千五百方里人口千七百六十萬葡の面積五千七百万方里人口四百七十萬にして全半島は一大高原を成し數條の山脈東西に走り其北にはピレネー、カンタブリア山脈あり急にビスケー湾に傾斜し其南にエブロ、ジエロの兩河城あり中央にカスナル山脈あり其南にタグスの河城あり其南のトレド、モレナ兩山脈の間にガデアナの河城ありモレナの南にガダルキヴィルノ河城あり最南の山脈はネヴァダ山脈と云ふ氣候温暖にして南部夏季炎暑甚しく高地は寒暑の差大なり農産物、玉蜀黍、米、果實、葡萄、橄欖油を産し畜類には綿羊有名にして鑛産には銀、銅、鉛、鐵あり人民は羅丁人種にして中世の頃には航海盛にして世界各所に殖民地を興し政治上商業上共に歐洲諸國の牛

耳を執れることありしも内憂外患起り今は第二流の位地に沈淪せり

佛國の西岸にポルドー港ありガロンス河の西岸に立ち人口二十五萬あり西佛平原の都府にして葡萄の産出を以て名あり大西洋の大貿易港なり其上流にツールーズあり人口十五萬の一都府なり

是より北に向へばロアル河の河口あり其上流にはナント(人口十二萬)ツール、オルレアン、サン、エチアンス(人口十三萬)の諸都會ありオルレアンより巴里府に入るを得べし
海岸を西北に進みブルターニュの半島の西端に至ればブルスト港あり之を廻りて東北に進みセーヌ河口に至ればル、ハール港あり

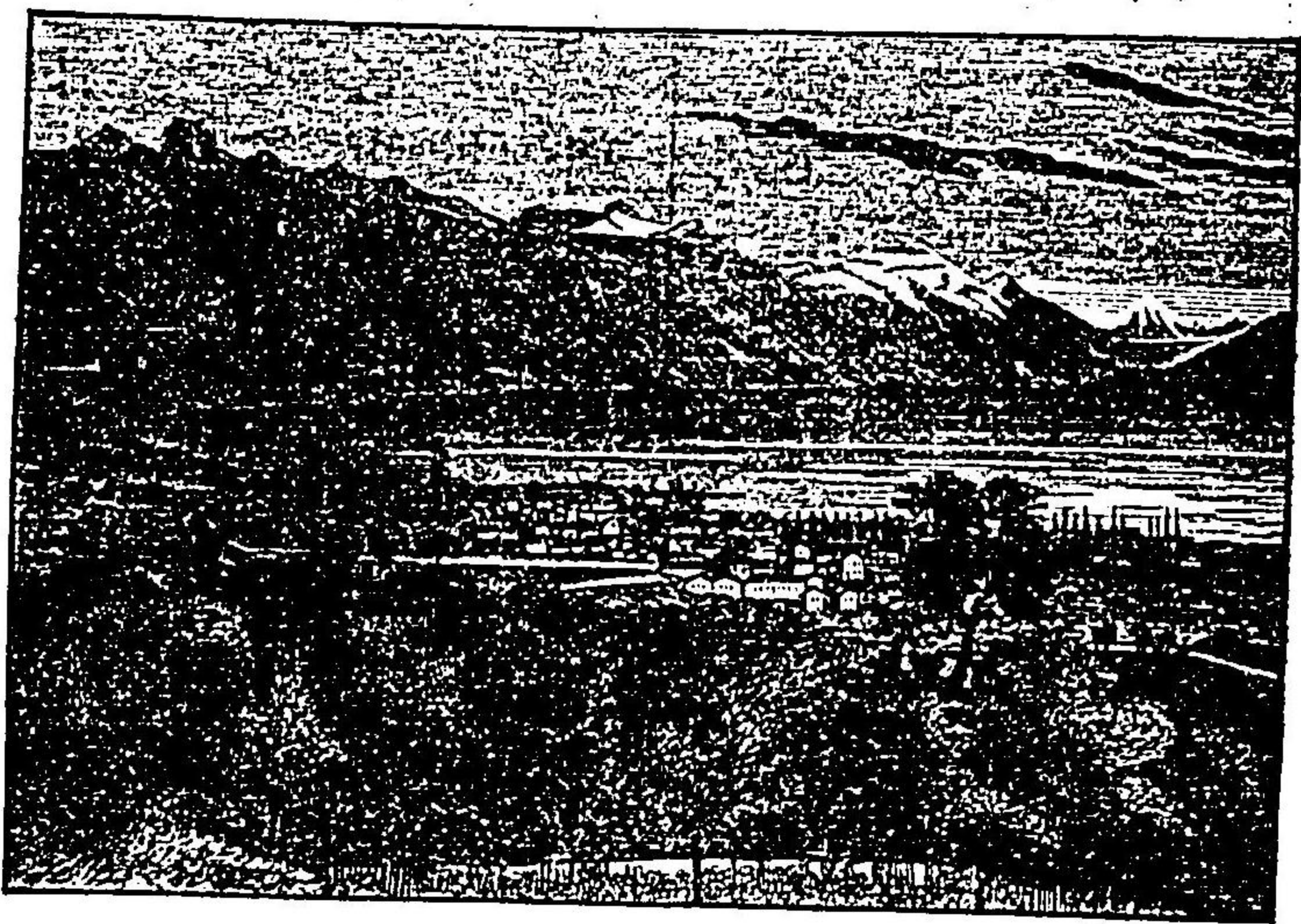
第 八 圖



巴 里 市 街 の 圖

ル、ハーブルは人口十
二萬あり英國との通
商盛にしてマルセイ
ユに次ける貿易港な
り其上流にルアンあ
り人口十一萬あり是
より更にセーヌを溯
れば巴里府あり
巴里は佛國の首府に
して人口二百四十五
萬ありセーヌ河の上
流に兩岸に跨りて立

第 九 圖



シ ャ ヴ ェ ッ 湖 畔 の 圖

ち倫敦に亞せ世界第二の大
都にして市街の美麗宏壯は
歐洲に肩を比するものなく
市の西南なるヴェルサイユに
は舊帝室の宮殿あり
巴里を發し鐵道にあり東
南に向ひヂシヨンに至り
西に向ひロース河の流域
に入りて南に降れば里昂
に達す
里昂は佛國東南部の大都會
にしてロース河の右岸に立

ち人口四十二萬あり歐洲の蠶此に集り織帛の業世界第一と稱す

是より南はマルセイユに至り西はポルドーに至る各鐵道を
通じ東北に向ひロースを溯れば瑞士國に入りジエネヴァ湖
あり此に臨みてジエネヴァ府あり府よりロースの支流アル
ヴを溯り東南に進めばアルプス山脈の間に伊佛の間に聳ゆ
るモンブランの高峯あり

アルプス山脈は伊佛の境界なる地中海沿岸より起り山嶺連亘
して北に走りモンヴァイゾーの高峯となり其北にモンセニの
高峯となり其間にナユリンに通ずる伊佛鐵道の墜道あり是よ
り更に北に延びて歐洲最高峯モンブラン(白山)を崛起し是ヨリ
山脈分レテ二となりジエネヴァ湖に流れ落るロース河上流の

南と北に沿ひて西に向ひ南なるものにモンローザの高峯あり
此等の峯は何れも一萬尺以上の高山にして就中モンブランは
一萬五千七百八十尺あり其西に至りて二支の合して一となる
處にセントゴタルドの墜道あり是より西に延びて伊太利の界
を走り澳太利國のナロール地方に入り東南に灣曲して餘脈ア
ドリア海の東北岸に沿ひてバルカン山脈に連接せり

ジエネヴァの北にジュラ山脈あり其南麓に沿ひ東北に向ひ
て進めばスーシャール湖の北岸にスーシャールあり其
東にベルス府あり

ベルスはアール河畔に立ち人口五萬の都會なり是より東北ナ
ユーリヒ湖の北にナユリヒ府あり人口十萬あり

ライン河は瑞西國の東北境より發しコンスタンチン湖内に

入り再び出で、北境を流れ、アール河之に合じ、バーゼル市の北を流れて獨逸に入る

瑞西國は此の如く南にアルプス山脈あり西北にジュラ山脈あり東北はライン河あり獨逸、澳伊佛の四國の間に介在し歐洲の中央に位する一高原にして宛も亞細亞に於ける西藏に似たり其面積二千六百余方里人口三百萬の一小國なるも天險の地利に據り且つ人民の忠勇なるを以て能く獨立せり寒暑の差著しく高山の巔に四時氷雪を載き漸次運動して降り谷に集り氷河を成せる所あり牧畜盛にして牛、山羊、多く工業中紡績、布、時計製造等の諸業盛にしてジュネグアムの時計は世界に有名なり

バルゼルを發しライア江の左岸に沿ひ北行すれば獨逸帝國

のアルサノスに入りストラスブルグを過ぎロルレースに入りメッツを経て再び佛蘭西に入りパリに歸るこのアルサノス、ロルレースの兩地は二十年前獨佛の戦争に依り佛國の割讓せる所にしてメッツはナポレオン三世の敗績せる戰場なり

巴里の北にリル府あり人口二十萬の一大都府にして毛布、絹布、砂糖を出し白耳義國の境に近く城塞あり是より西はカレーに出でドーヴァー海峽の一葦によりて英國に通じ東は鐵道直に白耳義王國の首府ブリュッセルに連る

佛蘭西共和國は面積三萬五千方里人口三千八百萬を有し其東南より東にアルプス、ジュラの諸山脈あり東にヴォスジュス山脈あり東北にアルデンス高地あり西南にはピレネー山脈あり

り中央には中央高原あり其河流はローヌ河、ジユラ、アルプス間に發して之と中央高原の間を流れて地中海に入りリオン、マルセイユの諸都府其流域に屬しガロンスピレチーの北にありてポルドー、ツールーズの諸都府之に瀕しロアール河はブルターニユ地方の南を流れナントツール、オルレアンの都府之に瀕しブルターニユ地方の北にセース河ありルハーヴル、ルアン、パリ之に瀕す沃野多く氣候溫和にして農産物に富み穀物、葡萄、生糸を出し鑛物には石炭、鉄あり織布の業盛大にして特に絹布は精巧華麗比類なく貿易亦盛にして地中海のマルセイユより東洋に通じ大西洋のル、ハーヴルより歐米に通じ鐵道によりて東北諸隣國に通ずるを得るを以て其商業の繁華は英國に亞ぐ政体屢變じて内亂外憂を被れるも人民愛國

の情強く軍備甚た盛にして常備兵六十萬軍艦四百三十六隻あり國外に多く領地を有し歐洲屈指強國なり

ブリユツセルは白耳義王國の中央に位し人口五十萬あり市街の美工業の盛を以て名あり市街の北にウオータールーの古戰場あり

其東に獨逸國の境に近くりエーシユあり人口十六萬の一都會にしてムーズ河の左岸に立ち其下流は北流してライン江と河口を全くすりエーシより鐵道東に通じライン河畔のケルンに至るものあり

ブリユツセルより西に向ふ鐵道はフランダ地方のゲントに至る人口十五萬ある酒革の製造にて有名なり

ブリユツセルより北に向へばシユルデの河口アントウエルブ

あり人口二十五萬あり商業盛大なり

白耳義王國は面積千九百方里人口六百二十六萬あり每方里に殆ど三三百人を有する割合にして人口の密度世界第一なり此國の位置は西歐低地に屬するを以て平野多く獨り南部に邱陵あるに止り氣候和順にして原野よく開け石炭、鉄に富み鉄器硝子を出し製造業盛にして紡績織布を出し殊にブリユツセルの「レース」は歐洲に有名なり人民は日耳曼人種過半を占め餘は羅丁人種なるも言語風俗は佛國に全じく宗教も全じく舊教なり

白耳義國の南にルクセンブルグあり人口一萬八千ルクセンブルグ侯國の首府なり此侯國は面積百七十方里人口二十一萬に過ぎるも三十年前倫敦條約にて初めて中立地とせる所

なり

アントウエルプより鐵道により北に進み和蘭陀に入り海に沿ひシエルデマースラインの河口を過てロツテルダムに達す

ロツテルダムはライン河口の右岸に在り北海に臨み河海の運漕に便なるを以て貿易盛なり人口二十三萬あり

其西北に首府ハーグあり人口十七萬市街清潔なるを以て名あり

ハーグより鐵道東に向ひてウトレヒトに至る人口九萬の都府にして鐵道是より西に通じ其北に向ふものはアムステルダムに達す

アムステルダムはブイデル海(南海)に臨み國中第一の大都會に

して人口四十五萬あり水運の便ありて古來貿易盛大の地なり
 和蘭國は面積二千百里人口四百七十萬の一小國なり其地
 勢低平なるを以てチーデルランデンの名あり西岸北海に濱
 する地は漸次沈降せるを以て海面より低き所あり故に海岸
 隄防の築造に意を用ひ内地には運河四通とライン河、マース
 河(ムーズの下流)シエルデ河等の河口此國に在り内外交通の便
 ありを以て海運の業早く興り外國貿易夙に盛大を極め今尙
 ほ商業を以て國を建て亞細亞、南亞米利加に領土を有し歐洲
 文物の我邦に漸入せるは殆んど全く此國との通商によれり
 アムステルダムより鐵道により再びウトレヒトを経てライ
 ン河の右岸に溯れば獨逸聯邦の盟主たる普漏士王國に入り
 河に沿て南に溯ればクレーフエルド、ドユツセルドルフ、バル

メン、エルベルフェルド、ボンケルン(コロニーニユ)コブレンツの
 諸都府を経べくボン、コブレンツの外は皆人口十萬の大都府
 なり

ケルンは人口二十八萬を有し江西に立ち西はアーヘン(エーズ
 ラ、シヤベル)を経て白耳義に通じ鐵道の中心なり有名なる寺院
 ありアーヘン亦た人口十萬の一大都府なり

コブレンツより江の支流モーゼルを西南に溯りてロルレー
 スに出でパリに通ずる鐵道あるも江に沿ひ東南に進みてマ
 インツに至り是より左岸に沿ひ本流を溯ればアルサーに入り
 ストラスブルグに至るべく右岸に沿ひて進めば聯邦の一な
 るセニ大侯國の首府ダルクスタット(人口五萬六千)を経てバ
 ーデン大侯國に入りマンハイム、ハイデルベルグ、フライベル

グの諸都府あり就中フライベルグは有名なる鑛山學校あり
 マインツより支流マイン河を東に溯れば其北岸にフランク
 フルトあり人口十八萬の大都府なり
 是より南に向ひヘッセン國を過てウエルテンベルグ王國に
 入れば其首府スツットガルトあり人口十四萬あり此國の東
 南部はシュワビアと云ひてダニユーブ江の發源地にして又
 南境はコンスタンス湖に臨みライン江の上流地方に屬す
 ウルムを経てダニユーブを渡ればバヴァリア(バイエルン)に
 入り其支流レヒ河の沃地を横ればミュンヘンあり
 ミュンヘンは聯邦中の第二の大國なるバヴァリア王國の首府
 にして人口三十五萬あり西南獨逸第一の大都會にして工業文
 藝盛にして麥酒の美は獨逸に冠たり

ミュンヘンよりダニユーブを渡り北に向へばニルンベルグ
 あり人口十四萬の一都會なり
 是より西北に向へばウエルツブルグに出で是より普漏士國
 に入るに西はフラクフルトに通じ北はハンノーヴェルを経
 てブレーメン港に通ずるを得べし
 ハンノーヴェルは人口十七萬あり其東にブランズウィック
 あり人口十一萬五千あり共に西北獨逸の大都府なり
 ブレーメンは其西北にあり聯邦中の一獨立市にして盛なる
 貿易港なり人口十三萬あり東洋に郵船を通ずるロイド會社
 は此にあり
 若し又たニルンベルグより東北に向へばサキソニー王國
 に入り其中央に人口十四萬のヘムニッツ府あり是より東に

進めばドレスデン府あり

ドレスデン府はエルベ河上に立ちサキソニーの首府にして人口二十九萬ありボヘミアのプラークよりベルリンに至る通路にして又た西は普漏士の東南部にあるブレスラウにも通ず
ヘムニッツより西北に向へば國境に近く國內最大の都府ライプナヒあり

ライプナヒは人口三十六萬ありサキソニーの工業鑛業の中心なり

是より東北はベルリンに通じ西北はハルレ、マクデブルグを経てハンブルグ及びブレーメンに通ず

ハルレは人口十萬マクデブルグハ人口二十萬の都府にして其西北なるハンブルグは聯邦中の一獨立市はしてエルベ河口に

臨み人口三十二萬ある北海の大貿易港にして古來商業盛大の地なり

ハンブルグの西北にバルチック海に臨みてユベック港あり亦獨立市にして人口四萬の一貿易港なり

ハンブルグより東南に向ひて鐵道伯林府に通ず

伯林府は獨逸帝國并にまた普漏士王國の首府にしてスプレー河上に立ち人口百五十八萬あり倫敦、巴里に亞ぐ大都會にして北歐工業の中心のみならず又た世界學問の淵叢なり其西其ボツダムに王宮あり

伯林より東南に向ひてオーデル河を溯ればブレスラウあり人口三十三萬東南部即ちシレシア地方の大都會にして露澳の境上にありガリシアのクラカウを経て黒海に通ず

伯林より北に向へばオーデル河口にステツチン港あり人口十二萬ポムメルン地方の貿易港なり
 伯林より東北に向へばヴィスナエラ河口にダンナヒあり人口十二萬を有し其東にケーニヒスベルグあり有名の學者カントの終生を送れる地にして人口十六萬あり共に西普漏士の貿易港なり

ヴスナエラを溯れば露西亞領ポーランドのワルソワに入りケーニヒスベルグより東に進めば露領に入り東北に向ひて聖ペーテルスブルグに達するを得べくケーニヒスベルグより西に向ひ海上を航すれば獨逸の北岸バルナツク海に濱する處に出入多くダンナヒ灣、ポムメル灣、リユベツク灣等其大なるものにして之を過ればキール灣の西なるキール港に着

す

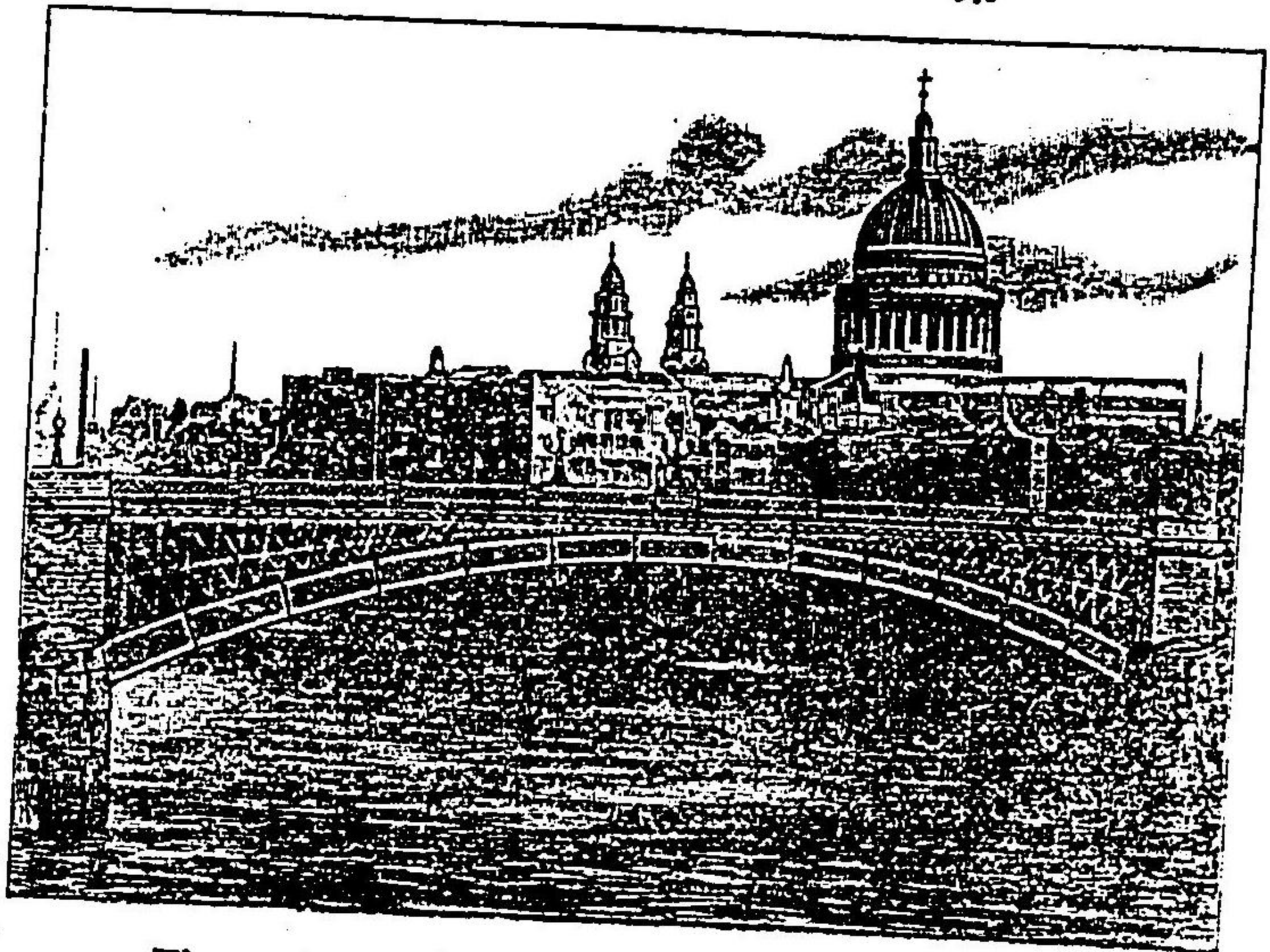
キールは人口七萬の一都府なるも近來是よりエルベの河に至る東海運河落成してバルナツク海より北海に通ずる新航路を開けるにより要港となれり

エルベの河口を抜錨して西北に向へばヘルゴランドの小島あり英國の獨逸に讓與せる所にして海濫次第に波浪の爲めに崩壞し面積急に減少するにより有名なり

以上見たる獨逸帝國は面積三萬五千四百方里人口五千萬の一大國にして地勢北に低平に南に高峻にして瑞西の山地に連りライン河を扶てヴオスジエス黒森の兩山よりボヘミヤの境にボヘミヤ森、エルツ山脈、リーゼン山脈あり中央にハルツ山あり中央以南の高地は森林深きも北部は一望茫々たる

平野にして地味は肥たるに非らざるも農業進歩せるを以て産物多く森林亦た保護宜しきを得て木材に富み採鑛の業は歐洲中に最も進歩せる國にして石炭、鐵、鉛、銅、岩鹽、銀を出し製鐵、織布、麥酒、醸造の諸業は甚だ盛大なり就中麥酒は年額三千萬石なり人民は重に「ニュートニツク」種中日耳曼人種と稱するものにして宗教は多は新教を奉じ教育制度普及し世界學術の精粹を極め大學大小二十一あり國體は聯邦の制度にして普漏士國王を擧て皇帝とし政體は立憲君主國なり佛澳露の三強國の間に介在するを以て軍備甚だ盛にして陸軍は常備兵四十九萬あり戰時兵役に堪るものは三百萬あり海軍は軍艦二百一隻あり澳伊に結びて中歐の三國同盟を作り其牛耳を執れり

第十圖



ロンドン塔の圖

北海を西に航すれば和蘭、白耳義、佛蘭西に對して貌利顛諸島あり其テームス河口に至り之を溯れば二十四哩にしてロンドン府あり
倫敦は英國即ち貌利顛王國の首府にしてテームスの兩岸に跨り人口四百三十五萬あり世界第一の大都會なり世界商工業の中心にして市街の繁華比類なし市の東端

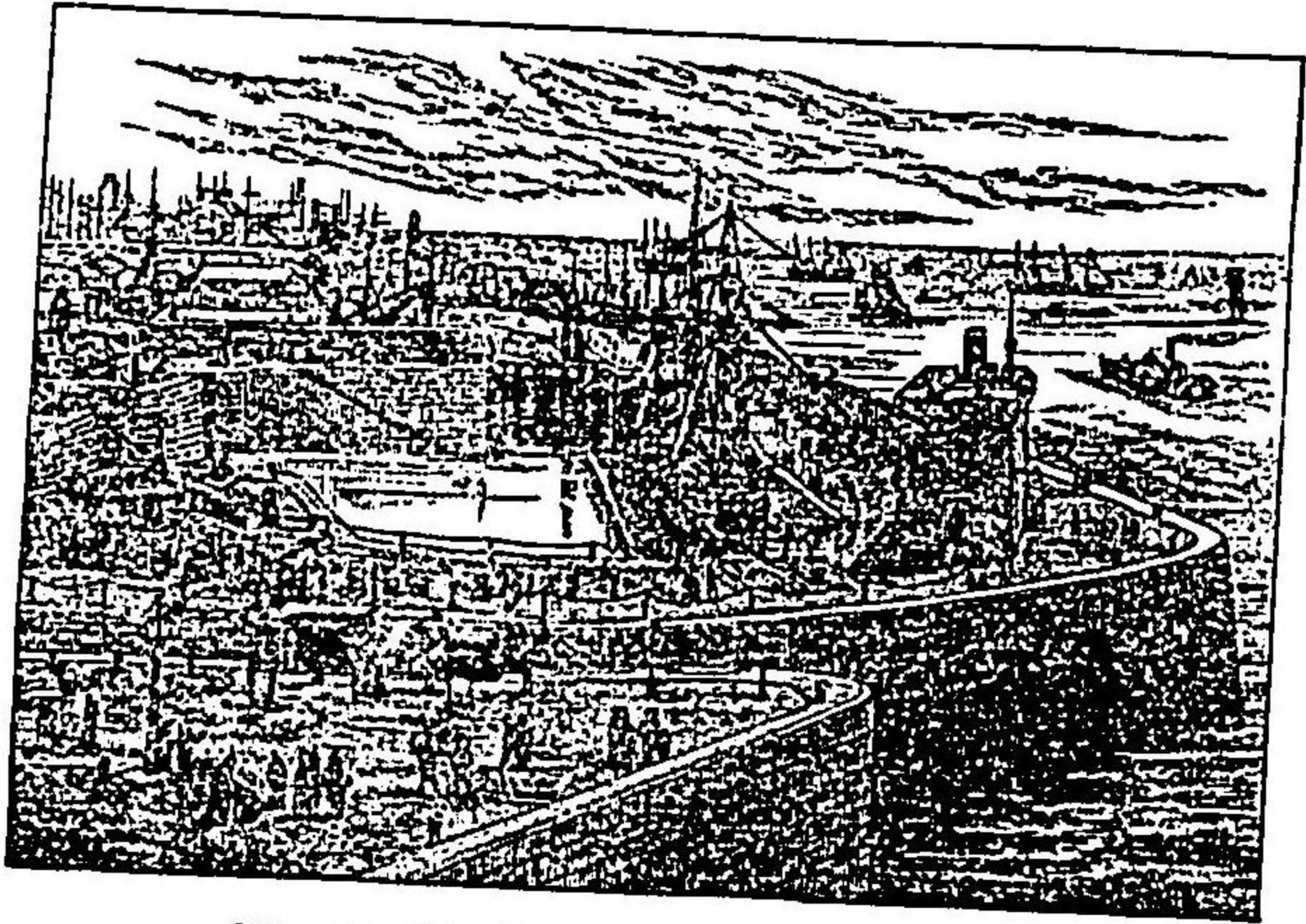
綠威(グリーンウィツナ)に天文臺あり此地の子午線を零度とし
て是より地球上の經度を起算す

倫敦より鐵道東に向ふものはドーヴァー至り佛國のカレー
と相對してドーヴァー海峽を成す

ドーヴァー海峽より英國の南岸を西に進めばブライトン(人
口十二萬)ポルトマウス(人口十七萬)サウザムトン、フリマスの
諸港あり西端のユルンウォール地方には鑛山あり錫を産す
極西をランズエンド角と云ひドーヴァーより此に至る間の
海上を呼びて英吉利海と云ふ

此角を廻りて東北に向へばブリストル海岬の西隅セヴァー
ン河口にブリストル港あり人口二十三萬の一貿易港なり其
對岸にカーザフ港(人口十五萬)あり船舶の出入多し

第十圖



ハリパールー船渠の圖

其東にブラッドフォールドあり之を経て倫敦に通ずる鐵道あり

倫敦より西北に通ずる鐵道線
路はノルザムトンに至り一支
を分ちてノツチンガム、シエフ
イールドに至り幹線は西北に
向ふてラグビーを経てパーミ
ンガムに至りマンチユスター
及リヴァープールに通ず

口五十二萬の大都府にしてラン
カンシャイアに在り工業の中心
製鐵業盛にマンチユスターは人
口四十九萬の英國の中央に位し

となり綿糸の製造盛大なりマンチエターの西に在るリヴァー
プール港は人口五十一萬あり愛蘭海に臨み貿易盛にして兩大
陸の大西洋沿岸諸地との船舶の交通甚た頻繁なり其輸出品は
綿糸を第一とす

ノッテングムは人口二十二萬あり其北にヨルクシヤイヤに入
りてシエツフィールドあり人口三十四萬共に工業盛に殊にシ
エツフィールドの刀刃類は有名なり其北なるリーズは人口三十
九萬ブロッツドフォールドは人口二十三萬あり其東にラムバー河
口にキングストン(ハルの上)あり亦た人口二十一萬あり盛なる
貿易港なり以上ヨルクシヤイアの諸都府はランカシヤイアと
相接して石炭の産地にして製造の諸業盛大を極めキングスト
ンはリヴァープールと共に其輸出港たり

ヨルクシヤイアの北なるダルハムは石炭及鐵の産額多く北に
は南北シールド、ニユーカッスル(人口二十萬)の諸港ありニユー
カッスルの造船所は世界に有名なり

ニユーカッスルより鐵道海岸に沿ひ北に向ひツウイード河
を渡りて蘇格蘭に入りフオルス河口に至ればエヂンバラ府
あり

エヂンバラは蘇格蘭の首府にして人口二十七萬あり英國文學
の中心にして有名なる大學あり然れども國內第一の都府は其
西なるグラスゴーにしてクライド河上に立ち人口六十九萬あ
り製造貿易共に盛なり若し又エヂンバラより海に沿ひ北に進
めばテイ河口にダンディーあり工商の業盛なる港なり更に北
にアベルデイン港あり

蘇格蘭の北部は高地にして人烟稀少なるも風景は甚だ美なり島の北端を西に廻ればヘブライド諸島あり英蘭の北に横れる愛蘭島の東岸に至ればベルファスト、ダブリンの兩都府あり

ベルファストは人口二十五萬餘の都府にして亞麻布の製造貿易共に頗る盛なり

其南なるダブリンは愛蘭の首府にしてサツフェー河口に立ち人口三十六萬の一大都府なり是より運河西に通じてシヤンン河口のリメリック港に至れり此地南岸にあるユルクは人口七萬五千ある貿易港なり

以上見たる所の英國は貌利顛王國と云ひ西歐海上の一大群島にして面積二萬三百万里人口三千八百萬あり面積人口共

に略我邦に等しく全島の地勢は東北なるスカンヂデヴィア半島の餘脈を承け北部に蘇格蘭の高地ありベンヴィスは四千四百尺あり島内の最高峰なり英國との間にチエオット邱あり英蘭にては西岸に近くペンニス山脈あり邱陵起伏し西部ウエールス地方に到りて稍高くして之をカムプリア諸山と云ひ其北部にあるスノードンは三千五百七十尺あり國中第一の高山なり河流は大なるものなく東岸に流るムハムバーテムス西岸に流るムアヴオン、セヴァーンを稍大なりとす愛蘭は著しき山なくシヤンン河獨り大にして西南に流る此諸國の海岸は屈曲甚だ大にして古代氷雪に埋れしことありて氷に削らしたる爲に生せる峽江多く良港灣に富み從て交通の便あり航海の業早く開け氣候の溫和なると鑛物(鉄石炭)農

産物に富めるとにより工商業の發達萬國に冠絶し石炭及び鉄は世界の産額の半を占め紡績織布製鉄の諸業盛に造船の業亦た甚た盛なり而して最も著しきは其商業にして一年貿易の額は三十四億弗の巨額に達し其領地は世界に普く其海軍は五百隻に近き軍艦を有し政体は立憲君主政治にして議會は上下兩院より成る人民は日耳曼人に屬し沈毅にして自負心に富み其國語たる英語は世界に普及せり

英國を辭して再び北海に浮び東北に向へば獨逸の西北に突出してユートランドの半島あり即ち丁抹王國にして其北端スカーゲン高角と云ひ北歐の西部より南に延びたるスカンデナヴィアの大半島と相拱してバルテック海の口を塞ぎ其西の入口なる所をスカゲルラックの海峡と云ひ之を廻りて

東南に進めばカタガット海峡あり海岸は英國の北部と全じく峽江あり家蓄穀物の輸出港アールボルグ、アールフース北沿岸にありカタガットの南部にゼーランド、フィューチン、ラーランドの諸大島横はりて東海の口を塞ぎ僅に大ベルト、小ベルト及びビスンドの三峽道を通じゼーランドの東部のスンドに入ればヘルシンゲル港あり峽道の内に臨みてコーペンハーゲンあり

コーペンハーゲンは丁人にしてキョーペンハーヴェン(商港)と云ひ東海の要港にして國都の所在地なり人口十五萬あり大學博物館あり鐵道北に向ひヘルシンゲルに至るヘルシンゲルはチルソンの東海々戦に勝利を得たる地にして其近傍に丁抹の砲臺あり出入の船舶は通過税を此に拂ふ

丁抹國は面積千方里人口百萬の一小國にして其地勢低平にして北部は稍高く邱陵多く西岸低く東岸高し人民は「チエー」トシ人種にして航海農業に巧に嘗て瑞典を領し強大なりしが之を失ひたるのみならず三十年前ヴェイナ會議によりて南部の地方を普漏士に割譲したれば國土甚だ狹小なり
ヘルシングエルより海峽を渡れば瑞典國のヘルシングボルグあり其南のランヅクローナに堅固なる砲臺あり瑞典の軍港なり更に南にコーペンハーゲンに對してマルメー港あり大陸より國の首府ストックホルムに通ずる爲に築港せる所なりヘルシングボルグは半島に唯一の石炭坑に近く且つ第十六世紀の天文學者「コーブラ」への誕生地にして有名なり是より海岸を西北に進めばゲーテボルグ府あり

ゲーテボルグは人口九萬瑞典諸湖の入口にあり國の要港にして英佛の通商盛なり

是より國の南部の大湖ウエーテル湖とウエツテル湖の間を東北に進めばストックホルムに達しウエーテル湖の西を西北に進めば瑞那の國境を越て那威の首府クリスタニアに入る

クリスタニアはスカゲル、ラツクの北隅に深入せるクリスタニア峽江の北端に在り人口十三萬大學博物館天文臺は有名なり其東にドラメンと稱する木材輸出港及びユンスベルグと稱する銀鑛山あり

那威の南を廻りて西岸に至ればスタヴァンゲル、ベルゲンの兩港「リング」鱈魚の漁獵盛にして那國第一の木材、魚、氷の輸出

港なり是より途に北にドロンヂエームあり國の舊都にして北歐屈指の伽藍あり

此兩地の間の海岸皆た高くしてジエトン、フイエルドの如き八千五百餘尺の高峯ありドロンヂエームより鐵道はスカンヂチヴィア高山嶺を横りて瑞典階段地に入りストツクホルムに達するを得べく又た直に南に走りてグロメン江を下りてクリスチアニアにも通ず

クリスチアニアより鐵道東に向ひ國境を横り數多の湖水を過ぎウエーテル湖の北を経てストツクホルムに達す其間に一支線南に走るありスカンヂチヴィアのマンチエスターの稱あるノルケツピング府に至るを得

ストツクホルムはメーラー湖口の一小島にあり近傍に壯麗

なる市街四十有餘の小島に散點し北歐のヴェニスの稱空しくからず一年三分一は氷に鎖さるゝも製造業盛なり都北二十里なるウフサラに近世博物學の泰斗「リンチ」の教授たりし大學あり北十里にダンチモロあり亦た製鐵地なり

是より更に國の北境の鐵礦及木材の産地に向ひポトニア灣の西岸に沿ひて鐵道あり

スカンヂチヴィア半島は一人の皇帝を載くも瑞典那威兩王國に分れ歐洲中人民最も稀薄の國なり半島の西南部は山嶽高く聳へミートン、フイエルド、ドヴレ、フイエルド等の高山峯を起しグロムメン河以北はキョーレン(脊梁)山脈と云ひ北に至るに従ひ漸く低し其西岸に峽江多くロフオーテンの如きは宛も鯨齒槎牙たるに似たり此海岸に鱈、ハドツク齧集し漁

獵盛なり最北端即北緯七十度の地にハムメルフェストあり
 歐洲最北の都會にして冬期三月の間日光を見ず氣候酷烈に
 して産物は高地の針葉樹を主とし穀物は燕麥に止り西岸は
 溫和多雨なるも平地なきを以て耕作せず山には鐵の良鑛及
 び銀銅の鑛脈を藏するも殆んど全くなきは欠點なるも製鐵
 の業盛なり那威瑞典人共に「ナユートン」人種に屬し新教を奉
 じ教育普及せり

ストツクホルムを發しボトニア灣口を横れば露西亞のフイ
 ンランドの岸に達し是より東に深く灣入してラインド灣あ
 り其岸にヘルシングフォルス、ウイーボルグの諸都府ありヘ
 ルシングフォルスはフィンランドの首府にして大學あり堅
 固の砲臺あり此地方の人民は黄色人種にして勤勉にして露

西亞人よりも開けたり無數の湖水國中に散點せり

灣の東隅に至れば露西亞の首府ペーテルスブルグあり

ペーテルスブルグはペーテル大帝の十五萬の工夫を役して建
 たる廣大なる都府にしてチヴァ河に臨み人口百萬あり是より
 東南百五十里のモスコウ府に至る一直線の鐵道は露西亞にて
 初めて成れる線路なり夏間はチヴァ河より府東のラドガ湖に
 通じ是より運河にて四百餘里を隔てたる黒海裏海に水路開通
 し河口のクロンスタットは世界無比の堅塞にして十年前ま
 では船路直にペーテルスブルグに通せざりしにより此處を海
 港とせり

ペーテルスブルグよりフィンランド灣の南岸に沿へる鐵道
 は西に向ひてレヴァル港に至る此港はヘルシングフォルス

に對し風景絶佳にしてペーテルスブルグよりも氷結期晩き
て以て輸入貨物此に集る

レヴァルの南にリガ灣あり此にリガ港ありヂユーナ河口に
位す古來商業上要港にして人口十八萬あり燕麥、麻、木材の輸
出港なり

ヂユーナの上流にドヴィンスク(ヂユーナブルグ)ありペーテ
ルスブルグよりポーランドのワルサウに通ずる鐵道此地を
過ぐ此鐵道によりて西南に進めばニューメン河上に人口十
萬あるヴィルナ府ありワルサウに入る

ワルサウはポーランド王國の舊都にして人口十二萬ありヱイ
スナユラ河の左岸に立てる美麗なる市街にして大學あり露國
第一製造地にして十萬の猶太人此市に住し商業に従事せり其

西南にロツツ府あり人口十四萬あり紡績業の盛露國第一と稱
しワルサウも及ばず鐵道是より西はベルリン、ドレスデンに通
じ東北はペーテルスブルグ、モスカウに通じ東南はキエフ、オデ
ッサに通ずべし

ワルサウより西南に向ひてピンスク澤地の西南を過ればド
ニエーベル河に臨みてキエフあり

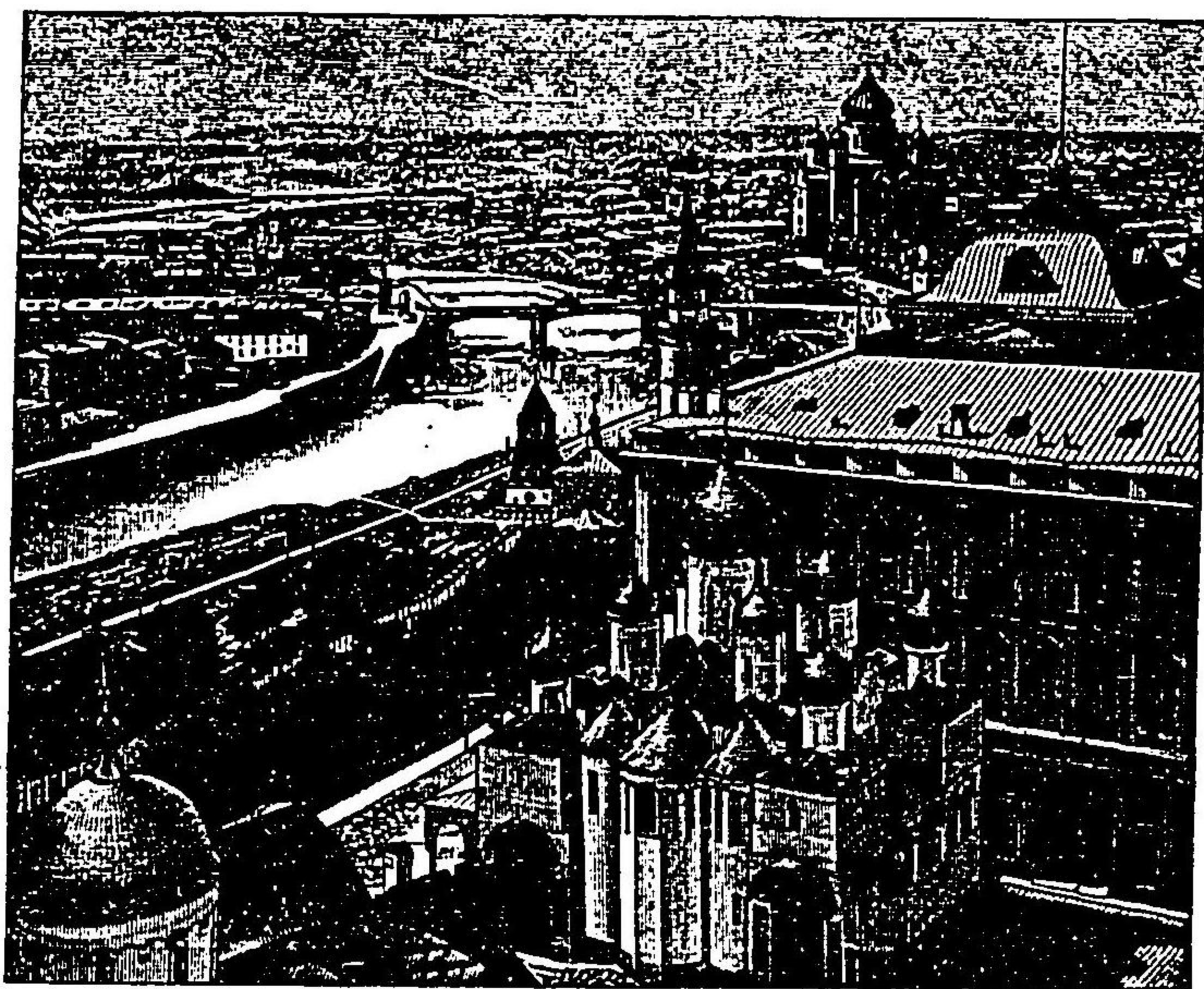
キエフはドニエーベル河の左岸の高き河階上に立ち人口十九
萬あり耶蘇教初て露國に布教せる地なれば古き寺院あり年々
來り巡禮するもの三十萬に下らず露西亞のメツカとも云べき
地なり

此地方は小露西亞と稱する地方にして河東はステツプと稱
する草原にして此地方住民曾て韃靼人の侵掠を拒がんが爲

に「ゴサツク」と云へる騎兵隊を組織し今尚ほ驍名を轟かしド
 ン河の流域に廣がれり
 キエフの南に臨みてオデツサあり人口三十三萬あり黒海の
 要港なり此近傍新露西亞の地はドニエール、ドニエースト
 ル兩河の下流に彌蔓せる黒土と稱する沃土の地方に屬し其
 産出の穀物此に集りて輸出せらる其西北に人口十二萬の都
 府キシチフあり家畜及び葡萄の産地なり
 オデツサ灣の東南にはクリミア半島突出し其極端に近くセヴ
 アスポールあり露土戦争の際英佛全盟軍の陥れたる有名の城
 塞の址なり

半島を東に廻りケルナの海峡によりてアブーフ海に入れば
 東北にドン河の河口あり穀物の輸出港ダガンログありドン

第二十圖



モスクワ市の街の圖

の支流ドチツツ河に
 ある炭田は露國にあ
 る炭田中重要なもの
 なり是より西北に向
 へばハルコフ府に至
 る
 ハルコフは人口二十萬
 ありクリミアよりモス
 コウに通ずる鐵道線上
 にあり毎年一月馬の市
 ありてドンゴサツク集
 り來る

是よりクルスク、オーレルを経て露西亞のパーミンガムとも云ふべきツーラ府に至り是よりモスカウに通ずる鐵道ありモスカウはオカ河の支流モスワ河上にあり露西亞の舊都にして人口八十二萬あり家屋皆木造にして寺院多く中央の「クレムリン」は宮殿伽藍攢り皇帝の戴冠堂其一なり重量二百噸の洪鐘ありナポレオンのモスカウを攻め焼かれて退けるは有名にして其激戦ありしボロヂノー府は西三十里に在りツーラはモスカウの南四十里にあり鐵鑛坑及び石炭田に近きを以て製造業盛に人口八萬五千あり

オカ河はモスカウより百餘里にしてウオルガ河に合す其合流點にニジニ、ノヴゴロツドあり人口七萬五千に過ぎるも毎年六月及び八月に市あり歐亞より醫集するもの十五萬許あり

りと云ふニジニ、ノヴゴロツドより降ること八十里にして左岸にガザンあり久しく韃靼酋長の都せる所にして人口十四萬ありガザンの近傍にて西北よりカマ河來りてウオルガに會し其上流ベルムより木材、石炭、金屬を運び來るも六月間は氷結して通せずベルムより鐵道東に延びて歐亞の境を東西に分てるウラル山脈を横ぎり其東麓イエカテリンブルグに至る此地に産する金は歐洲第一の産額に達す

モスカウよりペーテルスブルグに至る間にヴァルダイの高地あり其最高點千一百五十尺に達す是より西南に延びたる邱地はピンスク澤地の北を限り東に延ぶるものはウラル山脈に連りウオルガ河と北氷洋に流るムドヴァイナ、ヘチヨラの諸河との分水界を成し以北を北露西亞と云ふ南部に針葉樹

の森林ありドヴィナ河口のアルハンゲルスクより夏期四ヶ月の間木材樹脂を輸出す北部はチュンドラと稱する荒原にして満目の平地僅に灰色の地衣を生ずるに止るラツプ人に棲息す

カザンよりウオルガを降ればサマラありモスカウよりオレンベルグに通ずる鐵道線之を過ぐ人口十萬あり

サマラより流に順へはサラトフあり人口十二萬あり穀物の輸出製造業共に盛に一都會なり

ウオルガ河はカザンより南流すること二百九十余里にして裏海の低地に入り急に東に轉ずる處にツアリツインあり是より鐵道により河舟を西十六里なるドン河に運び黒海に向はしむるを得べく更に八十里にしてウオルガの河口に至れ

はアストラハンあり河口三角洲上に立ち人口十萬あり露人土耳其人波斯人雜居しストルゼオンの漁獵あり

ツアリツインよりドンに沿て降りロストフより鐵道により東南に向へはウオルガ、ドン兩河域の南に裏海と黒海の間を限る高地ありカウカス地方にして東南に走れるカウカス山脈の高嶺は歐亞の境界を南北に分ち最高峯エルブルーズは一萬八千六百尺あり

鐵道の東南端はウラヂカウカズと云ひカウカズの主の義にして堅固なる城壁あり是よりカズベツク山下の嶺を越て山脈の南に至ればシオシアと云ひ中央にナフリス府あり人口十四萬絹布葡萄酒産地の中心にして西は黒海々岸パーツム港より鐵道を通じ東は山脈の東端アプシエロン半島のバー

クーに至る

バークーは石油の産出を以て急に繁榮を増し人口十一萬の一
大都府となり石油を積める船舶絶ずアストラハンの間を往來
して石油をバークーに輸出す

是より裏海を横りて東岸シハイローフに上陸すれば露領中
央亞細亞に於て鐵道は是より起りて東南に向ひトルコマン
沙漠の南を走り東北に轉じて之を横りてアムーダリア河を
渡りブハラを過て天山の西端なるサマルカンド府に達す五
百年前露西亞人を臣妾にせる英雄タメルランの陵あり歐洲
戰亂の裏にありし頃此地は平和と文學の府なりき其東北六
十里にシルダリヤに臨みてタシユケンドあり中央アジアの
大都會にして人口十二萬あり西北に向ひシルダリヤに順へ

はキシルクムの東北を過てアラル湖の北を過ぎキルギスの
ステツプとして土砂燬くが如き平野を通過してオレンブルグ
に歸る

オレンブルグはウラル河の上流にあり露西亞東部の鐵道の
東端にして隊商の輻輳地なれば或は沙漠海の港と呼ぶ是よ
り鐵道サマラに出で西に向へばモスカウに通じ亦た東北に
向へばウーファアに出でウラル山脈を越て亞細亞に入りチ
エリヤピンスクに至れば之を西比利亞横斷鐵道の亞細亞の
西端とす

チエリアピンスクより東に向ひオビ河の西岸に至ればクル
ガンあり是より汽船にて河に順へばベルムより來る鐵道の
東端なるチエリヤメンに至り又トボルスクに出で再び東南

より流るゝ支流イルチンヌ海を溯りてオムスクに出るを得
 べきも鐵道は尙ほ東に連りてイシム河東のペトロバヴロヴ
 スクを経て人口五萬四千のオムスクに達するを得べくオム
 スクよりはイルチンヌを溯りてセミバラチンスクに出で支
 那帝國のズンガリア地方に通ずるを得べし

オムスクより東に向ひトムスクを経てエニセイ河の西岸ク
 ラスノヤルスクに至る線路近來落成せりトムスクも亦たオ
 ビの一支流の上流にあり金鑛の採取地にして近來大學の設
 立を見たり人口四萬あり

第三十圖



西比利亞平原の圖

にして風景極めて美なり
 海豹の一種を産す湖水半
 年は氷結し其氷の厚さ五
 尺に達すと云ふ
 湖北より起り東北に流る
 ゝ大河ありレナと云ひオ
 ビ、エニセイと共に西比利
 亞の三大河と云ふ其中流
 にヤクーツクあり住民を
 ヤクト人と云ひ商業に
 功なり其北に寒帶圈内に
 ヴエルホヤンスクあり一

月の平均温度攝氏氷點下四十九度にして水銀は數週間全く氷結して流動せざることあり極寒想像の及ばざる處なり
バイカルの湖南にキヤクタあり支那の城に接し支那の靛茶の輸入地たり
バイカルの湖南を東に進みてナターに出でシルカ江を降り黒龍江の幹流に順て東南に向ひブラゴヴスナエンスクを經てハヴァロヴカに至りアレキサンドロヴスク、ニコラエヴスクを經て海に出れば樺太島横りてオコツク海と日本海の間
の韃靼海峽を成す
オコツク海を東に横ればカムチヤトカの半島にペトロバヴロフスキー港あり沿岸にコマンドルスキ島あり海獸魚類の産出甚だ盛に住民はコリアツク人と云ひ未開の種族に屬す

韃靼海峽を過て南すれば左岸の樺太島は日本の讓與せる處に
し炭田ありウラヂオストツク港あり

ウラヂオストツクは露語東方の主の義にして人口五萬あり西曆千八百六十年露領に歸してより商業上軍事上日本海の要港となり堅固なる砲臺を設けたる軍港にしてウスリアムール兩灣の間に突出せる半島の南端に在り西比利亞横斷鐵道の東端と定められ凱興江を經て烏蘇里江を降りハヴァロウカに至る線路大半は已に落成せり是より我下の關に歸るに海上僅に五百七十哩に過ぎず

露西亞帝國は歐洲に有する領土のみにて三十五萬五千方里あり歐亞の全面積は百四十六萬方里に餘り世界陸地の全面積の六分一に相當し其人口は一億一千八百萬あり其の地勢

歐亞の他國と趣を異にし山嶽は國界にのみありウラル、カウカスは歐亞の境にあり澳との境に近くカルパトあり内地は平地多く西比利亞に東部にヤプロノイ、スタノヴォイ等の諸嶺ある外は南部の國境に沿へる山脈多し而して平地も地方により各風景を異にし黒海の近傍に沃野あり裏海の近傍は鹹地にして其東南は沙漠なり北部はテュンドラスと稱する地衣を生ずる平野にして終歲緑を見ず氣候は酷烈にして雨量に乏しく産物は歐洲には穀物、木材、金を産し西比利亞は金鑛に富み又毛皮(豹皮)を産すれども商工業共に盛ならず農業すらも猶ほ幼稚なるを免れず人民は「スレーヴ」人の外に蒙古種も多く國教は希臘教にして皇帝は即ち法皇なり君主獨裁の政体にして文明歐洲中の殿たり然れども其陸軍は常備

兵八十一萬あり戦時は増て二百五十萬に達するを得べく軍艦百二十隻あり軍備の盛なる歐洲第一なり

北亞米利加

合衆國

本邦横濱港より大平洋を横ぎり東に進むと十有余日にして
 一帯の山嶺次第に地平線上に高まり來らん之れを北亞米利
 加のシーエラチヴァーダ山脈とす横濱より一千九百哩に
 て合衆國の桑港に着す

桑港 北亞米利加大平洋岸の最良港にして二個の半島一は南よ
 り一は北より斗出と中に小灣を抱けり灣口を金門と稱す桑港の
 市街は其の南半島の北端に位す水には大平洋を以て世界の各港
 に通じ陸には鐵道によりて米國の諸府其他メキシコ、カナダに
 達す人口三十萬(略は我國の京都に同じ)邦人の居留するもの頗

多く日本領事館あり又支那人の數は二萬五千に及ぶと云ふ

大中鐵道ニランメシアンによりて東方に進むときはシーエラチヴァーダ山

系を横に走る約四十里にして其東側に出ずれば地勢一變

チバダ洲チバダに來る此地は海面を抜くと四千二百尺に及べども

一大凹地をなして深溪小湖多し南北に連るロッキー山脈を

前面に見大鹽湖の北濱に沿ふて走る此湖は頗る塩分に富む

瀛車峻巒の間を盤旋してロッキー山脈の東側に出づれば緩々

たる傾斜面により南北に延亘せるミスシッピー河の灌域を

望みつゝ其の支流の谷に下り更に本流を横ぎりミンガン湖

畔に出づれば茲に一大都會に達す此間一千里

シカゴ府 千八百三十年の頃は僅に民家の散點せし地たりし

も今や合衆國第二の大都會となり市の幅員南北八里東西四里

に及び水陸交通の便至大なり人口百十萬(即我東京に伯仲す)世界穀物の大市場たるのみならず附近より鐵を産するを夥し明治廿六年ヨーロッパ大博覽會開設の地たりを以て其名特に著はる

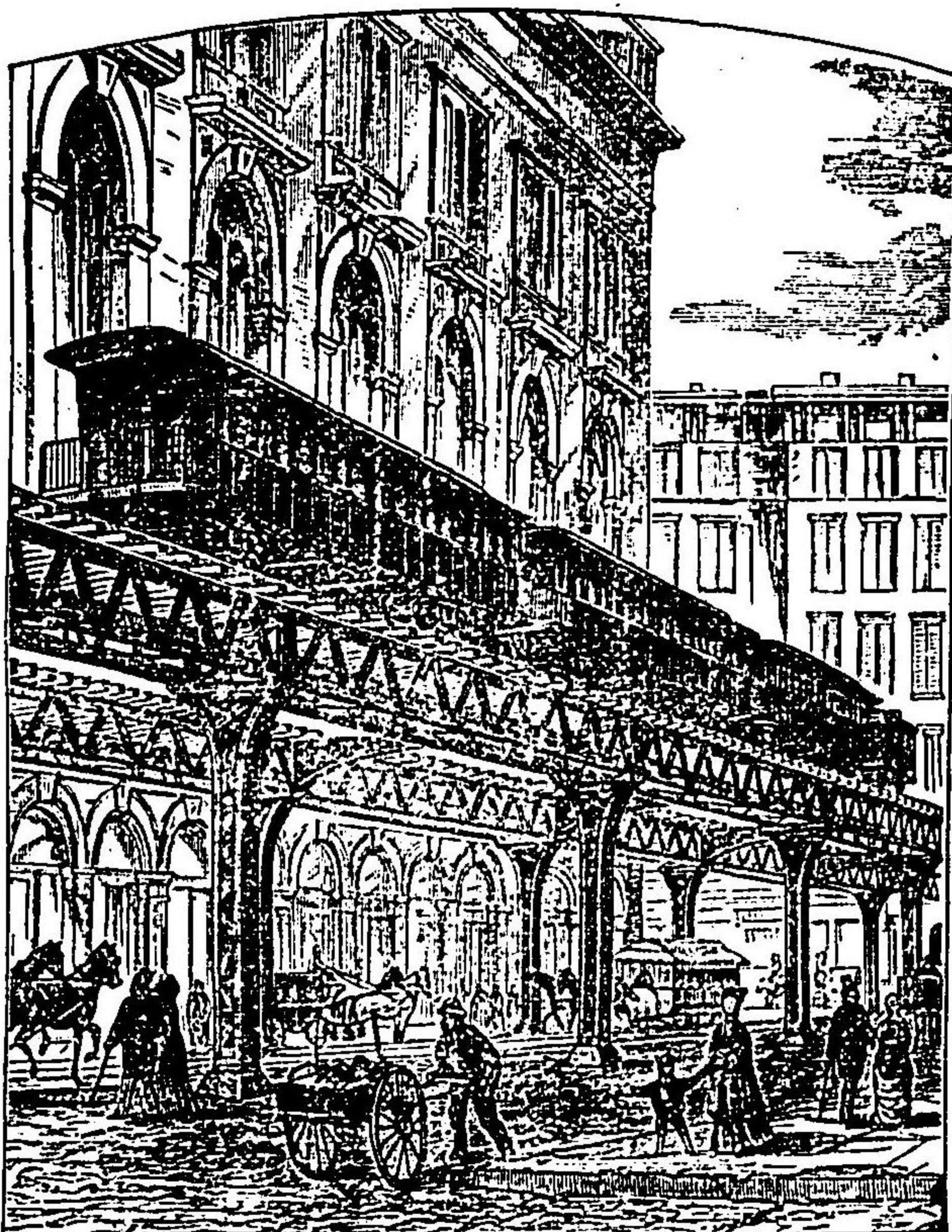
此の府より北望すればミシガン湖漫々として天と接す其左岸に沿ふて北すればシューピリオル湖畔に達す此湖は世界淡水湖中の最大なるものにして其廣さ我九洲に二倍し其幅一百七十五里に達する處あり對岸は英領加奈太の一部なりヒューロン湖は此東に當り加奈太との境あり三湖小口を開き中央にて相交通すヒューロン湖の東南にはイーリー及オンタリオ湖ありナイヤガラ大瀑布は此の二湖の間に位すシカゴより中大鐵道により東に進むと百七十八里にしてピッツ

ルグ府を過ぐ人口二十四萬此地天然瓦斯と石炭を多く産し鐵の製産を以て著名なりとす東アレガニー山谷の間を馳せ過ぐれば大西洋の岸に臨めるフィラデルフピア府に着す此間行程百四十三里

フィラデルフピア府 人口百四萬に及びデラウェア河岸ありて合衆國第三の都會たり此府は古來工産を以て著名にして産額年六億萬弗外國貿易一億一千萬弗に及ぶ以て其商業の活潑なるを見る可し西曆一千七百七十六年米國が英吉利國の羈絆を脱して獨立を布告し又初めて國會を開きし地なり

ニューヨーク府 は米國最大の都會にしてフィラデルフピアの東北十里ホドソン河の東岸に在り人口百五十一萬附近の諸市を合すれば三百萬に達すと云ふ良港其前に横はり英國リヴァ

圖 四 十 第



此府より北東に百三十四哩にしてポストン府に達す人口四五萬商業繁盛の都會なりフランクリン、エマルソン、ロングフェ

ニ
ユ
ー
リ
ヨ
ク
高
架
鐵
道
の
圖
當
に
總
計
十
億
萬
弗
に
垂
ん
と
す
一
フ
ー
ル
を
距
る
と
二
千
五
百
八
十
哩
此
府
は
本
國
の
經
濟
商
業
の
中
心
を
占
め
輸
入
は
國
中
全
輸
入
百
分
の
六
十
六
輸
出
は
百
分
の
四
十
四
に
相
當
に
總
計
十
億
萬
弗
に
垂
ん
と
す

ローアガシーデナ諸氏の生れし地にして一橋を隔て、ブル
ークリン市と相接す
此府より南西に進むこと九十里にしてワシントン府に達せ
ん

ワシントン府 ポトマツク河口に瀕する合衆國の首府にして
人口二十三萬國會議事堂の在る處なり

ワシントン府より南西アレガニー山脈に沿ひ更に之を横過
して再びミスシッピー河灌域の曠原を進まばメキシコ灣の
風物眼中に入りミスシッピー河口に近きニューオリヤンズ
府に達せん

ニューオリヤンズ府 ミスシッピー河に跨り人口二十四萬我
名古屋市より四萬人多し輸出の多きを本國中第二位を占むる

綿市場にして世界中リヴァールルの外此の地に及ぶものな
し鐵道運河汽船の交通自在なり

ミスシッピル河は合衆國の内部を流過せる大河にして其灌
域はロツキー山脈と大西洋岸に沿ふて走れるアレガニー山
脈との間に於て二十一萬平方里即合衆國五分の二以上を占
む故に米國は運送の便を此河に取ること大なり河身の全長
本流二萬九千六百哩支流ミソリールを算すれば四萬二千哩
にして航路一萬六千哩 ミソリールオハイオ等の支流も以
て汽船の航行を防げず水源なるミンチソタ洲の東北には七
千有余の湖水ありと云ふ

ニューオリヤンズよりミスシッピルの左岸に沿ふて溯れば支
流オハイナ河あり此の河により東すればシカゴを距ると南

東百八里の河岸にシンシンナチ府あり人口三十萬益本流に
沿ふて北進すればニューオリヤンズを距ると二百八十里に
して右岸の一大都市に達せん之れをセントルーイ府とす
セントルーイ府 人口四十五萬ミスシッピル河灌域中商業の
中心たり桑港を距ると一千里又東北東ニューヨークを距る四
百四十里なり

更に河身を溯ると八里にしてミソリール支流西北より流入
するを見る而して本流に沿ひ益北せばミンニヤポリス府に
達せん此府は人口十六萬我横濱と相同じ此地瀑布ありセン
トアンソニー瀑布と云ふ以て航路の極限をなす此瀑布の水
力利用は此府興起の基をなせり河を隔てセントポール市
あり人口十三萬此市より北々東に進むると一百二里にしてシ

ユビリオル湖の西端に達す此處にツールース市あり
 ツールース市 人口三萬前面に良港あり附近より出する鑛物
 は頗る多額に達すと云ふ此地は大北鐵道の終點なり
 自是大北鐵道にて湖水多きミンチソタ洲を西に進行し北加
 奈太に向て流下する赤河を横ぎれば茲にフワルゴ市あり
 更に西してミソリー河の本流を横ぎり黄石川モリス川の谷を傳ひ
 つまろツキ山脈に入る此南方に黄石公園あり巨大なる間
 歇温泉あるを以て其名高し北西海拔五千九百尺に在るマル
 ラン墜道(長さ四千二百尺)を経て西南コロンビヤ川の支流ス
 キーク川をば其本流に接する處に於て横ぎり川の南岸を西
 下すればタコマに達す此間行程一千九百十五里
 タコマ市 大平洋水の侵入せるハツジエツ上灣の東にあり我

日本と茶業の取引をなす地たり市後に聳ゆるタコマ山は高さ
 一萬四千七百尺あり
 シヤトル港 タコマの北七哩に在りて材木の市場なり明治廿九
 年以來日本郵船會社の汽船定期航海を此地と横濱とに開けり
 此の地より南すれば五十八哩にしてポートランド府を經此
 府はウイラメット川のコロンビヤ川に接する處に位す人口
 五萬之れより南七百七十二里にして桑港に至る東は大中鐵
 道によりシーエラチヴァーダ山を横ぎりチヴァーダ臺地を
 經てツチサツナ山を横ぎり更に又ロツキー山脈を超へミ
 ソーリー川の支流に沿ふて下ればオマハ府あり人口十四萬
 冶金の業盛なる處なり西南桑港より更に大南ソザンパレフイ
 ック鐵道によりてシーエラチバーダ山脈の西なるセイント

第五十圖



キヤニオンノ景

シヨークイン河谷
に入り南じて山を
超へ大平洋岸に出
づる處ローヌアン
ゼレス府に達す此
府は人口五萬氣候
極めて溫和なり桑
港を距ること百七
十五里なり南東コ
ロラド川あり河床
は深く峭壁の間に
低まり景色畫の如

きを以てペインテッドデザート繪畫沙漠の名あり

合衆國總論 北境は直線をなし北緯四十九度を以て加奈太と
接し南はメキシコと一直線を以て相境す面積三百五十萬哩
人口六千三百萬あり西側にはシヤトル桑港の二港あり海に
近くカスケード山脈、シーエラチヴァール山脈南北に走り更に
東にロッキーマウンテンの同方向に連れるあり鐵道は數千呎の嶺巒
を超へて之を横斷し更に大西洋岸に達すロッキーマウンテンの東側
は緩かなる斜面をなしミスシッピー大平原に下るアレガニー
山脈は大平原の東方を限り其東側は大西洋面に急斜するを以
て河流急速大川なく從て運輸の便なしと雖も河口は英國に
於ける如く良港をなすニューヨーク府、フィラデルフシア府の
如し此國の市府は概ね區劃井然街路廣濶なり

ミスシッピ河の平原地方は南はメキシコ灣を控え北は唯一帯の臺地にして山脈なしと雖大湖によりて英領加奈太と境すシカゴの北に廣延せるミシガン、イリー、オンタリオ及ニューゼリオル、ビュロンの湖水は相通じ又其間運河の設けあるを以て急流を避けて航するを得可し

交通 東海岸は西海岸より良港多し南北に走る諸山脈あるも汽車之を横斷しミスシッピ河其中央を流れ北に湖水あるを以て全體交通の便宜あり

政治 西曆一千七百七十六年今を距ること百二十年前英國の羈絆を脱し共和政府を建立せり

氣候 南は灣流の影響を受け且緯度低きを以て益暖なり然るに地勢上北方より至る寒風を遮るもの無きを以て中央は頗

る寒冷なり北緯三十度邊に於けるミスシッピ河水の如き氷結するに至る西岸は東岸よりも溫暖にして南西の暖風沿岸の山脈に觸れて其の水分を雨下するを以て濕氣に富めり。産物は工業頗盛なるが上に穀物礦物の産多額なり氣候物産の點より地理上本國を分て四部となす

一北東地方 オハイオ河とデラウェア灣の地方一帶の地域にして歐洲と全じく氣候溫帶性にして雨多く穀物は善く生産す歐洲人最多く東部は人口稠密なり製造業盛なる地にして
ニユーヨークの南西地方は石油を以て其名高し

二南東地方 半熱帶植物多く煙草及綿を産し之に次ぐものは米及砂糖とすアレガニー山脈は石炭に富む黑人多く其數白人に超過せんとするの勢あり此地方は氣候風の爲め雨量多

く米及砂糖を産す

三西經百度と百二十度間の地方 大部は臺地をなす低夷なる
グレイリーあり降雨乏く灌漑法によらざれば耕作に適せず
人口極めて少くと雖ロツキー山脈の銀及シニューペリオル湖
岸南西地方の鐵は産出甚夥と

四大平洋沿岸地方 山腹は濕潤なれども平原に下るに従ひ乾
燥にして夏期には殆んど雨なく冬期は寒冷ならずカリホル
ニヤは金の産出で以て其名高くコロンビア川及サクラメン
ト川の谷よりは穀物を産し山は森林を以て蔽はる

アラスカは一千八百六十七年米國が露西亞より購求したる北
亞米利加西北端の地にして合衆國の一領地たりヴァンクー
ヴァーとの間に汽船の定期航海あるのみならず内地にはユ-

コン川によりて交通の便宜と此地の住民は多く漁獵を事とす
アリユーション群島は其西に連亘す

英領加奈太

ヴァンクーヴァー港は合衆國シヤトルの北五百九哩の國境に近
き處にあり日本横濱を距るる二千百十二哩にして合衆國の桑
港に於けると關係を同じくし人口二萬あり加奈太平洋鐵道
の一端にして東端モントリールを距るる百六十里

程を此地に發し加奈太平洋鐵道により東に進めばカスケ
ードゴルドセルキルクの諸山脈とロツキーの支脈を横ぎり
て東に入れば人烟稀少なる加奈太南西地方なり更に進みて
シニューペリオル、ヒューロン湖北を廻りオツタワに達す

オツタワ府 は加奈太の首府にして人口四萬オンタリナ湖の

圖 六 十 第



圖 の 林 森 太 奈 加

南岸に位し、運河を以てオンタリオ湖に連なれり之れより東する五十里にしてモントリール府に達す。モントリール府 人口二十一萬加奈太最大の市にしてオツタワ河とセントローレンス河との合する處に位す。毎年五月より十一月に至る間の解氷期には船舶の來往頻繁を極む。河路千哩許りにして大西

洋に出づるを得可し

モントリール府を發しセントローレンス河に沿ふて百八十二哩を下れば左岸にクエベック府あり人口六萬にして前面に良港を控ゆ此府より東北セントローレンス河の右岸に沿ひて下り更にニューブランズウィックノーヴァスコチア地方を過ぎ大平洋に面せる岸に到れば茲にハリファックス港あり加奈太の良港にして人口四萬リバープールのを距るる四千四百五十三哩此港の在るノーヴァスコチア洲は石炭に富み北亞米利加に於ける英國海軍の碇泊所なりニューファウンドランドは此洲の東北に在る島地にしてベルアイル海峽を以てラブラドルと相對し北方ホドソン灣口なるホドソン海峽に於ては一年中氷解期唯僅に二三ヶ月に止まるも其期ポルト

チルソン府に至るの航路開通の時にして商業上重要なり
 トチルソン府はチルソン河口の北岸にあり河流百哩は以
 て舟を行り内地の交通を助くを得可し之れより北は寒威凜
 冽不毛の地たり北亞米利加大陸に接して北氷洋に島地夥多
 あり此の多島海の間を航して東亞に達せは歐洲より東亞に
 達する航路を減するを得る然れども此通路は利用すべきも
 のに非ず此通路を北西通路と云ふ

加奈太は西曆千七百六十三年佛蘭西より英國に讓與したる亞
 米利加北半の大部にして面積三百三十萬方哩人口大約四百八
 十三萬あり其南東に偏せる地方に於ては人口最も多く農産は
 小麥にして鑛産は石炭を最となす

グリーンランドは北亞米利加の北にありて高緯度に位せる

第七十圖



北氷洋熊狩の圖

が故探檢洽からざると氷塊陸
 を蔽掩せるを以て其形を明に
 せず此地は丁抹領にして其の
 西岸を殖民地とす住民は耕作
 よりも寧漁獵を事とせり

メキシコ共和國

北米の地勢南に逼る處メキ
 シコ共和國あり合衆國大南
 鐵道より南メキシコ共和國
 に分走せる中央メキシコ鐵
 道により南に進まば二條の
 山脈に介する、高原に入ら

ん此高原の中程にメキシコ府あり

メキシコ府　メキシコ共和國の首府にして熱帯に位すれども海面上七八千尺の高地に在るを以て温度我東京に伯仲す此府の南に聳ゆるポ、カタペトル火山あり高さ一萬八千六百尺之れより南西に進み八千六百尺の峠を越ゆれば大平洋岸のアカプルコ府に至らん此府は大平洋岸の良港にして人口三十三萬あり桑港を距ると千五百九十哩又首府より瀛車にて東に進みロツキー支脈を横ぎりて大西洋岸に下ればヴェラクルーズの良港に達す此間行程百四哩

メキシコ共和國面積七十六萬七千方哩即我邦の六倍弱人口百四十萬あり人種は「アメリカ人」「インド人」全人口の三分の一を占め二分の一は雜種にして殘餘は白人なり多く行はるゝ言語

はスペイン語とす北方は地味悪しく人煙粗なれども南方に於ては人煙稠密なり地勢上交通を障碍するを多きを以て交通の便頗る悪し氣候は熱帯に位せるに關らず概して温帯の性を帶ぶ産物は玉蜀黍を主として又多量の銀を出す

中央亞米利加

グアテマラ共和國は中央亞米利加の西北にあり其面積約我九州の三倍にして人口百四十六萬あり

サンサルヴァドル共和國は面積我四國に同じく人口七十八萬あり

英領ホンデユラス　首府をベリーズと云ふ人口六千六百にして海岸に位す此國の面積サンサルバドルと相似て人口三萬一千あり

ホンジュラス共和國 面積グワテマラより少く小にして人口四十四萬あり

ニカラガ共和國面積四萬九千方哩人口三十一萬あり咖啡及「ゴム」を産す

コスタリカ 其面積我北海道に同じく人口二十四萬にして珈琲の産地たり

中央亞米利加はメキシコの南にある地域の總稱にしてサンサルバドル、ホンヂユラス、ニカラガ、コスタリカ、グアテマラ、より成る地勢は東側即ち大西洋沿岸は低地にして沼澤多く西側即ち大平洋岸には良港ありニカラガ地峽の長さ百七十哩其中河湖の水路を除けば開鑿を要する地は僅に二十九哩にして以て大西大平兩洋を連ぬるを得べし

産物は熱帯に位せるを以て熱帯産物に富み煙草珈琲の如きは最も重要なるものとす珈琲は主として海岸より産す

西印度諸島

北米フロリダのセーブル岬より南米オリノコ三角洲の間に連なれる諸島にして全面積我邦の本州及び九州を合せたるものと伯仲す此等の諸島を別て大アンタルス小アンタルス及バハマ諸島となす其内多少獨立せるものありと雖殆んど歐洲諸國の分割する處なり

スペイン領に屬する西印度諸島

一 キュバ は我北海道と九州とを合併したる大きと略相同じく人口稀少なり島の中央を貫通せる山脈の最高峯をタルキノと云ふ高さ八千八百尺あり産物は砂糖を主とし又多

額の烟草を出たす

ハバナ府はキューバ島の首府にして人口二十萬ありフロリダ海峽に臨み良港を抱けり此島の鐵道は近年内亂の爲め暴徒の破壊する處となれり

二、ポルトリコは面積我四國の半にして煙草と砂糖珈琲を産す

英領西印度諸島

一、ジャマイカ

二、バハマ諸島 一千四百九十二年コロンブス氏が亞米利加に於ける第一の發見地にして珊瑚島より成り海綿を産す

三、ツリニダット 西印度諸島中人口最も多く地瀝青の湖水あり

佛蘭西、和蘭、丁抹の領地

佛蘭西に屬するものはグワデルーブ、マルナニツクを主とし和蘭に屬するものはクローサアオ、アルバポ子ール等にして丁抹に屬するものはサンタクルーズ、セントーマス島等とす

北亞米利加總論

北亞米利加は全面積九百萬哩人口新世界の三分の二即ち八千八百二十萬に達し南亞米利加よりも遙に多く我國の五十六倍あり住民は英獨スカンデナビヤより此地に移住せし以來土人日々に減ず大平洋海岸には近來支那人少なからず地勢は東岸即大西洋に面せる部分出入多く西岸即大平洋海岸は出入甚少とす大陸の西部を南北に走るロッキー山脈に並行せる列よりなり其間臺地をなし其西側に急斜し東側に緩斜す其山脈の

幅廣き處は合衆國全幅の三分の一以上を領し南部狹き處に到りては東西海岸の間に高臺をなす東方大西洋海岸に並走する山脈は河流の爲め處々に横斷せられ鐵道及道路布設の便あり上記兩山脈の間は廣大なる平原なりミスシッピー河此間を流る長さはミソリーを合して四千二百哩に達し其灌域は魯佛英獨四國を加へたるものに均しく大湖は此の北に多く加奈太と合衆國の境なるニューペリオルは世界最大の淡水湖なり氣候は東岸寒暑共に強く西岸は温暖なる南西濕風と黒湖との影響を受けて溫和なり中部は南北に開放して北方の寒風を支へざるを以て寒冷を極め南部はメキシコ灣より濕風吹來るを以て雨多けれども西より至る濕風はロツキー山脈の爲め水分を失ひて乾燥なるを以て内地雨少なし之れ大沙漠の存在する所以なり赤

道海流はキヤリビアン海よりメキシコ灣に入り灣流となり北米の東岸に沿ふて進むメキシコ灣には時々暴風の起る事あり綿は南部より穀物は北部及西部より多く産出し煙草の産出又少しとせず合衆國の北部及カナダより材木を産す石炭石油銅鐵は合衆國銀はメキシコより産す

南亞米利加

中央亞米利加の南端より地勢益南に逼りて南米に入るや狹長なる地峽をなす之をコロンビヤ國の北端なるパナマ地峽とす此地の大平洋岸にあるパナマ港より東側なる大西洋のアスピンウォールに至る鐵道ありパナマ港は桑港を距ること三千五百哩

コロンビヤ共和國

ボゴタ府はコロンビヤの首府にして人口十萬海面上八千四百尺の高地に位せるを以て熱帶の地たるに關はらず氣候溫和なり
 此國は西曆千八百十九年西班牙の羈絆を脱して成立せし共和國にして其面積我邦に三倍し人口三百九十萬國語は西班牙語なりアンデス山其西部を走り東はアマゾン水源の河流多く産物は幾那皮穀物及銀を主とす

エクアドル共和國

コロンビヤ共和國パナマ港より南に航しエクアドル共和國の良港なるガイヤキールに至る之れより北東に仰ぎ進めばキートー府に達せんキートー府は此國の首府にして海拔九千三百尺に位し空氣清澄なり此府の人口八萬許りあり

エクアドル共和國は略我國より臺灣を除きし面積と等しく人口百十五萬ありて其多數はインデアン族とす國語は西班牙及土語とす中央アンデス山脈と同高原は東西の分水界をなし全國交通不便なり火山の數五十余に下らず其内コトバキン山高さ二萬一千尺に達す産物は幾那皮を主なるものとす

ペルー共和國

エクアドル共和國のガイヤキールより南に航せばペルー共和國のカラオ港に到らん之より東四里リマ府ありリマ府は此國を征服したる西班牙のピザロー將軍の創建に係るペルー共和國は其面積殆んど我邦の三倍人口三百萬ありてインデアン族其半に達し國語は西班牙及土語とすアンデス山脈は二分して東西二派の連嶺となり其兩山脈の間は高地にして

西側は大平洋海岸の低地をなす東側はアマゾン河の上流及ウ
カヤール川流域の高地なり鐵道はカラオよりリマを経てオロ
ヤに至る延長四十八里に達す氣候は毎年十一月より翌年四月
に至るまで天氣清澄にして海岸地方は全年殆んど降雨なし産
物は砂糖、綿、羊毛及ナリー硝石を最とす此國は舊時盛に銀を出
せしと云ふ

ナリー共和国

ペルー共和国のカラオよりアンデス山脈に並行して南に航
せばナリー共和国のバルライソに至らん此府は人口十五
萬あり瀛車に乗り百十五哩東南に進まばサンチアゴ府に達
す

サンチアゴ府 はナリーの首府にして人口二十五萬あり鐵道

南百五十哩にあるタリーコ市に達するものとアンデス山を横
ぎりてアルゼンチン共和国の首府ビエノスアイレーに至る
ものどあり

ナリー共和国は西曆千八百十八年西班牙の羈絆を脱せり其面
積我邦に二倍し人口二百九十萬ありアンデス山の西側に沿ふ
狭長の地域にして南端にあるチーエラデルフーエゴ島はアル
ゼンチン共和国の領地に跨りマガリヤンス海峡を以て大陸
と隔つ此海峡は往時マガリヤンス氏が世界を一週せし時通過
したる處なり其南端を角岬と云ひ南亞米利加の南端にあり此
國は南北長さ八百八十里東西四十里にして中央以南の海岸には
出入夥し東境のアンデス山脈より西に向けて横嶺を分派し其
間なる溪谷は膏腴の地なれども北するに従ひ植物減少し遂に

アタカマ砂原となりペルーに連る氣候六月より九月迄雨多き爲めに百花一時に競發す要するに附近諸國よりも冷氣饒といふ産物の主なるものは硝石にして之に次ぐものを小麦とす

アルゼンチーン共和國

ナリー共和國のヴァルパライソより汽船に乗りマガリヤンス海峽を過ぎて亞米利加の東南に廻らばラプラタ河口の右岸に位せるビエノスアイレー府に達せん

ビエノスアイレー府 人口五十萬即我邦の大阪と伯仲し水陸交通の便あり

面積我邦の七倍ありて人口四百萬外人中伊太利人最も多く西班牙語多く行はるアンデス南部山脈より次第に下りて大西洋に至る其間大平原ありて「パンパス」の名あり樹木なし鐵道は各

地の要市を聯ぬパラナ及右岸の支流なるサラド及ピルコマヨ河等は交通の便あり氣候處によりて甚差異あはとも要するに乾燥の地なり重要なる産物は羊毛にして之れに次ぐものを乾肉及牛皮とす

パラグワイ共和國

ウルグワイ共和國に次ぐ最小國にしてピルコマヨ河とパラナ兩河の間に介する面積我邦より少しく狭く人口四十萬あり主府をアサンシヨンと云ふ交通多く河流により鐵道は尙ほ微々たるものなり主なる産物を茶及煙草とす

ボリビヤ共和國

ブラジルの西アルゼンチーンの東に在る國にしてアンデス山間の高地と其東側の斜面より成りアマゾンの支流マデイーラ河

此國を貫流す面積我邦の三倍余にして人口百五十萬首府を
シユークルと云ふ農工業は主要の産業にしてポトシ市の近傍
には銀鑛山あり此地海面上一萬三千呎の高處にして世界中人
間の棲息する最高點なりといふ

ウルグワイ共和國

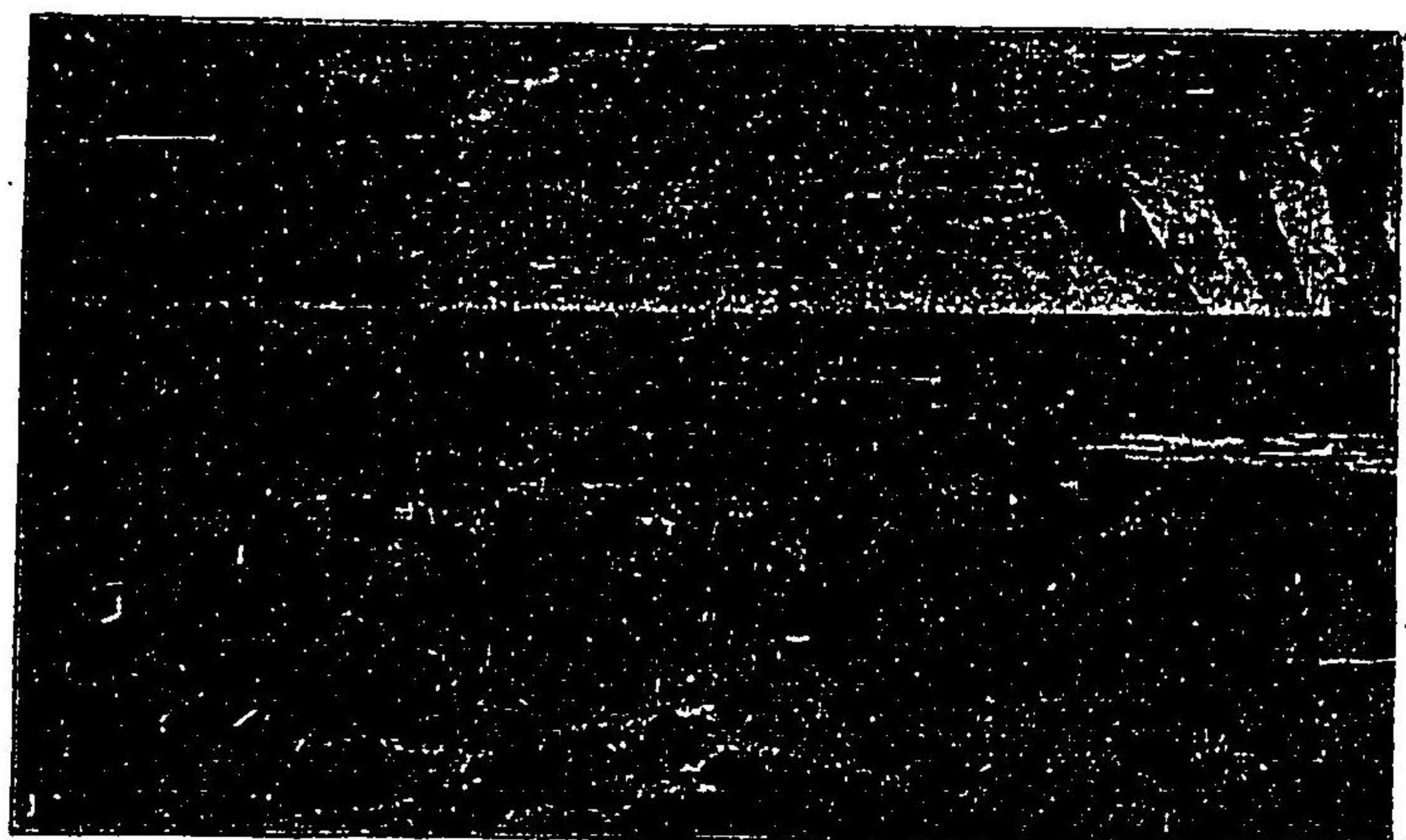
ラプラタ河とブラジルの間に在りウルグワイ河流其西を境す
南米の最小國にして面積我邦本洲と等し人口七十三萬首府を
モンテヴヰデヨと云ひウルグワイ河口に臨み人口十四萬英國
龍動よりリスボンを経て此府に至るの航路五千五百三十五哩
なりヴアルバライソを距る(角岬を廻りて)海路千三百七十二哩
とす國中大山なく丘陵起伏す鐵道の長さ四百哩産物は獸皮、羊
毛乾肉、獸脂等にしてアルゼンチン國と同じく牧畜業盛なり

ブラジル共和國

モンテビデオより東北に航進せばブラジル國のリオヂャチ
イロに到らん

リオヂャチイロ府は人口四十二萬にして此國の首府たり鐵道
は此の府を中心として各要市に至るビエノスアイレー府を距
ること六十二里ペナンブユ府は人口十九萬海底電線此地より
發して葡萄牙のリナボン府に達すサンサルバトル府は本國第
二の大都にして人口二十萬大西洋岸にあり
ブラジル共和國西曆千八百八十九年共和國を建て其面積三百
二十萬方哩即我日本帝國の二十倍にして合衆國と伯仲し殆ん
ど支那本部の五分の四に相當す人口千四百萬あり人種は「イン
ヂアン」族多し國語は葡萄牙語なり此國は海岸より次第に西に

第 十 八 圖



ブラジルの平原

高きれりアマゾン河サンフラ
ンシスコ河の全流域ハラナウ
ルグワイ河流域の大半は此國
中に屬す五千哩の長さに達せ
る鐵道は殆んど珈琲産地々方
に在り氣候臺地及海岸に溫和
なれども此他は健康に宜しか
らず産物大森林多く有用の樹
木を産じ珈琲を主としゴム、煙
草、木綿、砂糖之に次ぐ礦物には
金剛石及金有れども産額多か
らず

ギアナ

ブラジルの國の北に位し山岳多く森林之を蔽ふ佛英蘭の三國
に分屬す

佛領ギアナ、全ギアナの三分の一余を占め人口三萬にして砂
糖及香料を産す

蘭領ギアナ、英領の三分の二にあたり人口六萬砂糖を産す

英領ギアナ、は最西の部分にして面積一萬七千方里人口二十九
萬三河の流域には三殖民地ありデミョーラーは良港にして英
のリバープールを距ること四千二百六十哩重なる輸出品は
砂糖及糖酒なり金田はベチイスーエイラとの境界にあり爲め
に兩國境界論争地となれり

ベチイスーエイラ(又ベチシユラ)共和國

千八百三十一年の創建に係りコロンビヤの東ギアナの西に在り面積四十一萬方哩人口二百余萬オリノコ河流域大部を占む首府をカラカスと云ふ人口七萬主なる産物珈琲、木綿、煙草之に次ぐものを金と銅とすツリニダット、トバニュー兩島之に屬す南亞米利加

總論

南亞米利加は全面積亞細亞の二分の一弱に當り人口三千三百四十萬ありて「インヂアン」に屬するものは十分の四白人は十分の二黒人は十分の一にして他は雜種とすアンデスは世界最長の山脈にして南亞米利加の西海岸に沿ふて走り有名なる火山其間に多し最高をアコンカグワ山と云ふ二萬三千余尺あり北岸には短き山脈あり又東部に在る山脈は臺地より起り海岸に

急斜す東西山脈の間にはオリノコ河口よりプラタ河口に走るまでの長き平原ありてオリノコ平原アマゾン平原プラタ平原に分つ氣候南亞米利加全面積五分の四は殆んど熱帯に位し其形西海岸を底邊としサンロック岬を頂點とせる直角三角形に等し東北及東南貿易風は本陸に向て向き來り山脈に撞撃して其水分を失ふのみならず二暖風相衝突するや上騰して寒冷なる空氣層に入り其含有せる水分を雨下するを以て世界中尤も多雨の地たり之れアマゾンの大河の洋々として東流する所以なり

本洲は大部熱帯に位せると貿易風を受くるを以て酷熱濕潤なれども高地に在ては酷熱大に調和せられて温帶性を帶ぶ其東岸はブラジル海流の洗ふ處となるも西岸殊にナリー、ペルーは

南より廻流する寒冷のフンボルト海流の影響を受け東岸よりも著しく寒冷なり産物は甘蔗、珈琲、煙草、幾那を産し虫類及鳥類多く銀はポリピヤのポドシ銀山を首とし金剛石はブラジルより産す

濠太刺列西亞 (オウストラレシア)

我邦横濱より汽船に乗り渺茫たる大平洋を南に航すれば熱帯地方に散點する多島海の間に入り南温帯に出て濠洲の東岸なるブリスベイン府に達せん

クインスランド

ブリスベイン府 シドニーの北二百里に在り人口四萬九千之れより北方には海に臨みてタウンズビル府あり本洲は其面積我邦の四倍にして人口四十萬あり北端をヨーク岬と云ふ地

域殆んど熱帯に位すれども概一千尺以上の臺地より成れるを以て氣候比較的冷涼なりデバイデンク山脈の兩側には河流尠なからず産物は羊毛及金を最とし之に次ぐものを錫、銅、石炭とす

新南威耳斯

シドニー府 人口二十萬ありシヤクソンの良港を抱き商業の中心にして石炭産地の間に位す東北は鐵道により七十五哩にカストル市に通ず又南西は鐵道によりメルボルン府に至るを得ん我横濱を距る四千六百十四哩

新南威耳斯 は濠州中最古の殖民地にして其面積五萬余方哩即我邦の二倍にして人口百十三萬余あり地勢デバイデンク山脈は洲を南西に通過するを以て海岸低地と臺地及内部の平原に分たる地味は概ね瘦せ山脈中の臺地中には處々良好の土壤

ありと雖も海岸を距ること六十里より八十里以上は降雨少きを以て臺地の欠點とす産物の主なるものを羊毛及小麥と之に次ぐものは石炭、錫とす

ビクトリア

メルボルン府 ポートフィリップ灣の北端に位し人口五十萬あり
ビクトリア洲の首府にして又濠洲最大の商工都會たり我横濱を距る五千百十四哩英京龍動と一萬一千九百四十哩を隔つ
ビクトリヤ洲 新南威耳斯の南に位する小洲にして其面積略日本の本洲に等しく人口百十四萬ありオーストラリアンアルプス山脈其東を蔽ひ南にピレニースグランピアン等の山脈あり此の山の南部は雨に富み水利宜く牛馬の牧養に適し北部は之に反して雨量甚た乏し人民の産業は牧羊、農及鑛業にして重

もなる輸出品を羊毛とす金は元と産出多かりしも今や大に衰微せり

南濠洲

アデレイド府 は本洲の首府にして人口五千ムーレイ河其東方に開口す

本洲は濠洲の中央を南北に貫き其面積略日本の六倍ありて人口三十二萬余住民の大部はロフナー及フリンダース山脈の横過せるスペンサー及びビンセント灣の東北部に偏住す内地は殆んど沙漠に屬すれども河流の近傍は綠草繁生し牧羊に適しアイアール湖畔にては鑛井を穿ちて灌水の便を得べし北部は熱帯に位し住民は支那人最も多しと言ふ電信は北海岸のバルマーストンヨリ艸野を横りて南海岸のオーグスタ港に達し海底

電信は北岸のポートガルウインより歐洲葡萄牙のリスボン府に至る産物は小麦銅及羊毛なり

西濠洲

首府をバースと云ふ西南海岸に位し人口一萬あり

本洲は濠洲の三分の一即日本の七倍を占むと雖も人口僅に五萬に過ぎ内地は不毛の沙漠にして南濠洲の境にアマジュー湖あり産物は羊毛及鉛とす

濠洲總論 濠洲は其面積我邦の十九倍人口三百萬あり概ね英人にして多く英語を用ゆ北方全洲の三分の一は熱帯に在り以南の地は温帯に位し住民は殆んど此間に住居す地形北にはヨーク岬とカーペンタリア灣ありヨーク岬の北には我邦よりアデレード府に定期航海をなす汽船寄港する木曜島あり南に濠

西太刺利亞の大灣あれども海岸の出入少く概並行四邊形をなすに似たり地勢は東海岸に沿ふ分水山脈あり海岸を距る半里計りの處に四百八十里に連る珊瑚礁ありオーストラリアンアルプスは山脈の高處にて高さ七千尺以上に達す内地は臺地と平原にて此間を流るゝ河流の最大なるはムーレイ河にしてオーストラリアンアルプスより發源し支流ダーリングを合せは一千里其流域地方は肥沃にして八百三十三萬方里あり大なる湖水にはアマヂュースアイアール等あり交通道路不完全なりと雖電信は北岸のバールマストーンより全洲を横斷して南岸のオースタに至り海底電信又ポートガルウインより歐洲に達す鐵道は殆んど各洲の首府及内地の鑛山を連ぬ其中最長なるものはブリスベイン府よりアデレード府に達するものとす氣候は乾燥

第十圖



金の田の圖

酷熱にして東南貿易風多きを以て東海岸一帶幅八十里の間は降雨多し又夏期は内地の炎熱甚しきを以て海岸より内地に吹く風多きも降雨甚少し動物には本土固有の有袋獸あり其標式たるべきものをカンガルと云ふ産物はムーレイ河灌域及内地草原より羊毛小麦を産し此他葡萄、甘蔗、果實あり鑛産頗る多く金を主とし銅、錫、銀、石炭あり

タスマニヤ

バス海峽を隔て、ビクトリアの南に位し其面積四千四百方哩人口十五萬あり地勢中部及西半の大部は二三千尺の高地より成り山嶺此間に列座し東部は低地より成れり首府をホバートと云ふ人口三萬二千あり産物は果實、錫、金、羊毛等なりとす

ニュージラント

主なる島は北島及南島の二にして其面積一萬五千方哩人口六十七萬あり白人の數六十二萬七千に達す地勢一大山脈は兩島を通じて南西端より東北端に達し南島に於ては山脈は西海岸に接し中部より東の大部は平原より成れり氣候溫和にして山脈の西側に在る地は雨量多けれども東側一帶の地は雨極めて稀なり首府をウエリントンと稱し北島の南岸に在り人口三萬四

千ワイカト川の上流には有名なる白階段あり産物は小麦、金及石炭なり

ポリネシヤ

大西洋中の小島を總稱し殆んど熱帯に位す人口百五十萬あり近年耶蘇教盛に行はる其主なる島は左の如し

フヒーシー島 英國に屬しニューシランドの北に在り桑港を距る西二千三百五十哩に在る火山島にて英國の領地にて面積略我九洲の四分の一に當る産物は砂糖を主として茶、珈琲、綿花、椰子は近來著しく産出増加せり

サモア群島 はサモア王國の在る處にして火山島十四より成る

サントウイツナ諸島 は布哇共和政府の管する處にして面積

圖 十 二 第



サントウイツナ諸島

六千七百方哩日本人一萬二千支那人一萬五千歐洲及米國人三萬余土人三萬四千あり最大なる布哇島には一萬四千七百尺のマウナキア火山及キラウエア大火山あるを以て名高くオアフ島には首府ホノル、あり日本領事館の在る處にして横濱を距ること千七百哩近時大日本郵船會社は定期航海を茲に開けり重なる輸出品は砂糖なり

此他トシガ、サモア、クツクハーペー、ソサイター及ロー等の諸島はフヒージー島の東方に散點す

ニューギニヤトルレス 海峽を隔て、濠洲の北にあり世界最大の島(濠洲を除き)にして其面積三十四萬方哩人口四十四萬あり西半はオランダ領にして他は英國及獨逸領たり地勢山脈に富み東南狹長なる地方を通過せるオーエンスタンレー山脈あり

て高さ一萬三千五百尺以上に達す産物は眞珠貝等なり

メラチシヤ

メラツカ及びフヒーシ諸島の間にある小島を總稱す産物は眞珠貝等なり

ミクロチシヤ

赤道の北ニニューギニヤと日本の南方に在る諸島を總稱し概ね珊瑚島よりなり東にあるをギルバート及マルシヤル諸島とし中央のものをカロリン諸島とし西北に在るをマリヤン及ラドロン諸島とす産物の主なるものを椰子とす

濠太刺列西亞總論
大平洋に於ける無数の群島(濠西太刺利亞を含む)を總稱し大部は赤道以南にあり此の群島を大別して濠西太刺利亞、ニューシト



圖一十二

山火ヤロケラセキ

ランド、メラネシア、ポリネシア、マイクロネシアとす其大部は歐
洲の分割する處にして大平洋に散點する無數の島嶼は火山及
珊瑚より成る火山はボルネオ、ニューギニアより東北に延びて
大平洋の諸島に至る此他近傍淺海にして一部は大陸の遺物た
るもあり氣候赤道の南北に亘り熱帯より温帯に位す十月より
翌年三月迄は南半球熱を受くるを多く濠州内地は熱して低氣
となるを以て赤道地方より北西季候氣候風吹き赤道以南は三月
より十月まで南東貿易風吹く赤道の南に位せる諸島と我邦と
は四季全く相反し我邦の夏は此地の冬にして此地の春は即我
邦の秋に當れり近時我日本との關係益深く横濱より一千九百
八十六哩を距つ木曜島を経て濠洲の東岸なるタウンズビル
(横濱より二千二百九十哩) シドニー(同二千七百七十七哩)メルボ

ルン(同三千三十里)等に寄港シアデレイド(同三千二百五十七哩)に至るものと他線布哇島(同千五百一十一哩)を経て北米シヤトルに至る定期汽船の寄港する處たり

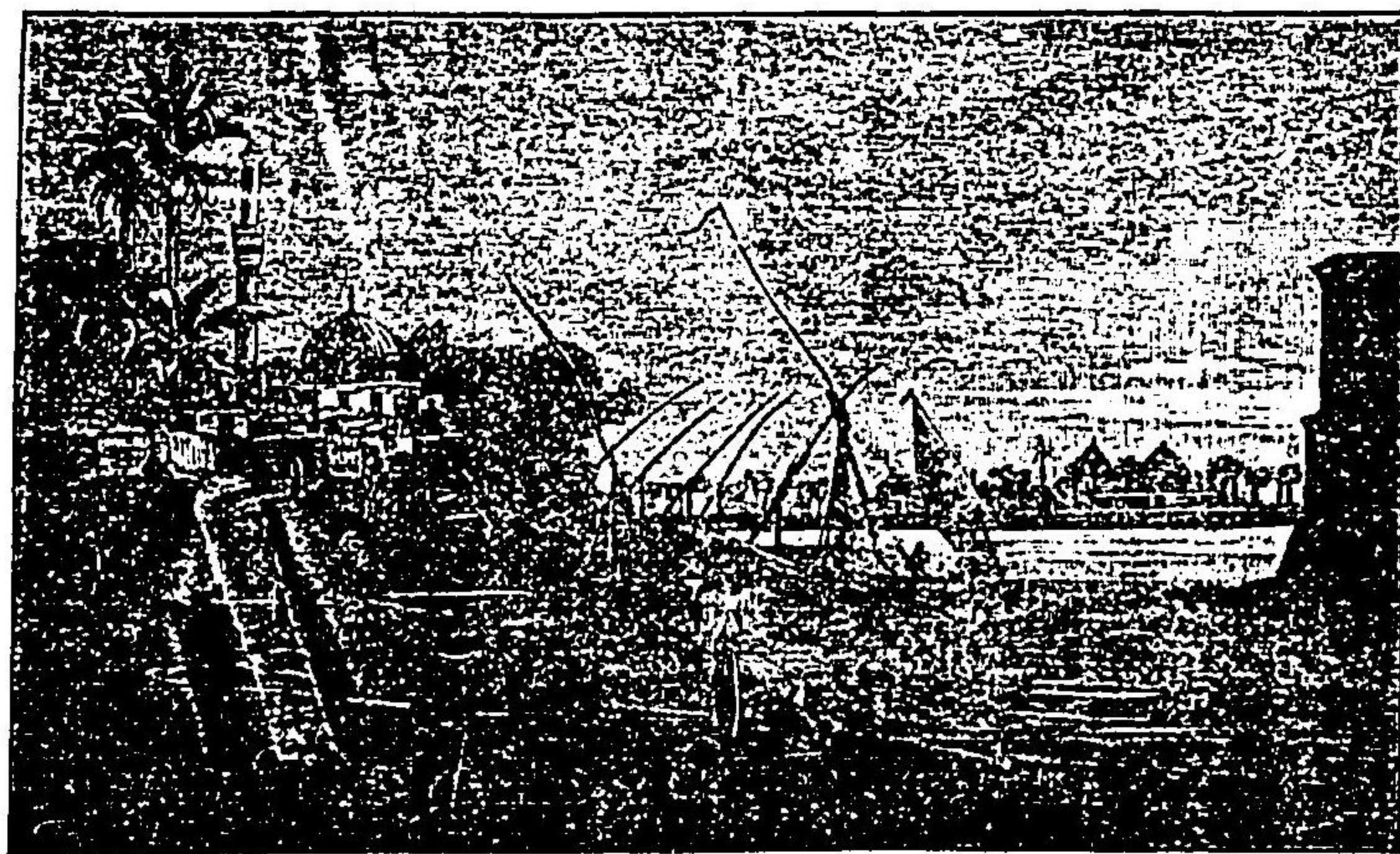
亞弗利加

我邦横濱より大平洋を西南に航過シ支那海より印度洋に出
モアラビヤの西亞弗利加の東北に在る紅海を北々西に進み
スエズ運河を過ぐれば埃及ノポートサイドに達せん此市は
スエズ運河の西北端に在り人口一萬七千歐洲へ定期航海を
なす汽船の寄航地たり此間航程千八百四十二哩此地より轉
じてナイル河を西南に溯らばカイロー府に到らん

埃及

カイロー府 埃及の首府にしてナイル河三角洲頭に近き右岸

第二十二圖



ナイル河畔の圖

にあり亞弗利加中最大の都とす
人口三十八萬あり市街は現今六
方里に亘れり

此府より汽車により西北に進
むこと百三十一哩にして渺々
たる地中海に臨めるアレキサ
ンドリヤ港に達せん此府はア
レキサンドリヤ大王の建設せ
し所なれども今や大に衰微せ
り人口三十五萬即我邦の京都
と相伯仲す又東北五十哩にザ
ガジグ市あり此市は穀物及び

木綿の大市場なり又此府より「ギーゼ」の尖塔「メンフヒス」の墟趾を訪ひ南すること七十哩にしてベニスローエフ府あり此市よりスエズ運河の南端なるスエズ府に達するを得可し奇勝絶景を賞むつゝ益南上すればカイローを距る八十里にしてシウト府に到らん此府は埃及鐵道の南端に在り之れより以南殆んど耕作の地を見ずアツスーアンはナイル第一瀑流のある處にして人口四千あり

埃及は大古の頃世界文明の中心とも稱す可き國なりしが今や其遺墟を見るのみにして文運全く地に落ちたり面積四十萬平方里人口八百萬アラビヤ人及「コプト」族多く國語は「アラビヤ」語なり亞弗利加の北東に位し北はナイル河口より南ウエヂーハルツワに至る二百七十二里東は紅海よりシナイ半島を含み西

はりビヤ沙漠に接す國內を大別して三部となすシユート以南を上部埃及と言ひシユートよりナイル三角洲を中部埃及と言ひナイル三角洲を下部埃及と言ふナイル河其南北を貫通す氣候は乾燥炎熱にして降雨少し住民は農業を採れども耕作に勝ゆる地は僅に一萬平方哩にしてナイル三角洲とナイル兩岸沙漠の狭き谷及ナイルの西に在る凹地を主とす上部埃及にてはナイル河水高まるや溢れて兩岸を超へ岸側の池に流入するを以て此池より灌漑し中部埃及はナイル河一定の増水より灌漑用水を取り下部埃及は廣地あるも水に乏しきを以て近時灌漑の計畫あり産物は綿花及綿種を主とし埃及輸出の四分の三を占む其他砂糖、羊毛、蠶豆、小麥等なり

ヌビア及東スーダン

ウエザーハルフワより南方に當り北緯十度に至るナイル河上部の地域にして東紅海と西リビヤ沙漠に狹まる氣候北部は甚だ乾燥にしてアトバラ河のナイル本流に會する處は降雨少なからず産物麥、木綿、藍、煙草、ゴム等なり

アビシニヤ

アビシニヤ ヌビヤの東南に在り全國高地に位し平均水面上七千尺あり木綿、砂糖、珈琲を産し豊饒なる國なり

バルバリー諸國

トリポリ國 は土耳其に屬し面積四十萬平方哩人口一百萬あり埃及の西に位す地勢東方は不毛の平原南はハムマダ高原にて其南に山脈横はり西北海岸地方は豊饒なり海岸砂堆甚しき爲め良港に乏く舟行危險なり首府をトリポリと云ふ地中海北岸

に在りサウラ沙漠を通過する隊商の中心とす産物は海綿なり

アルゼリヤ はナユニスヌの西に在り北は地中海に面す佛領に

して全面積四萬二千方里人口四百二十萬にしてアラビヤ人及

「バーバー」族を主とす地勢氣候ナユニスに同じ耕地は小アトラ

ス山脈と海岸の間にあり佛國此地を占領するや銳意殖民の發

達を力めしを以て今や鐵道千二百哩耕地埃及よりも多きに至

れり首府をアルゼールと云ふ人口八萬三千地中海岸にあり東

南にコンスタンナン市あり産物は酒、羊毛、甘藷、葡萄、果實、煙草、橄

欖油にして昔時は穀物を多く産出せしむ印度と競争の爲め全

敗したり

ナユニス は佛領にして面積四萬五千平方哩人口百五十萬あ